

# 自然部 (追加)

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動く玩具に興味をもち機械や道具に関心をもちたせる。</li> <li>・ 雨の日、晴れた日、日なた日かげなどの違いに気づかせる。</li> </ul>
--------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海や山に関心をもちたせ、自然の美しさに気づかせる。</li> <li>・ 虫の種類、形の違いに気づかせ、その動きに関心をもちたせる。</li> <li>・ 物の形や大小、数量の違いに関心をもちたせる。</li> </ul>
--------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節による動植物の変化に関心をもちたせる。</li> <li>・ いろいろの物を集めて遊んだり、分類したりするものに興味をもちたせる。</li> </ul>
--------	---

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物の方向、高低、速度などに関心をもちたせる。</li> <li>・ 気温の変化に気づかせ、植物の成長や変化に関心をもちたせる。</li> </ul>
--------	---

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動物の種類や習性、生態などに関心をもちたせる。その違いに気づかせる。</li> <li>・ 季節の変化や天体の美しさに気づかせる。白ひげの植物の成長の違いに関心をもちたせる。</li> </ul>
--------	---

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集めたものを整理したり分類したりして、その「ま」方を工夫させる。</li> <li>・ 秋の虫や草花などの種類や特徴のちがいに関心をもちたせる。</li> <li>・ 独脚車や自動車などの機能や構造に関心をもちたせる。</li> <li>・ 身近な場所の遠近、方向、位置について注意したり比べたりさせる。</li> </ul>
--------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節により植物の変化やその美しさに気づかせ、気温の違いによる動物の生活の変化に関心をもちたせる。</li> <li>・ 物の形の違いや軽重、数量の違いに気づかせる。</li> </ul>
--------	--

5才. 1.

絵本を見る 指導内容
物語絵本をたのしんで 見る。
物語絵本を教師に読 んでもらう。
絵本の内容について、 友だちに簡単な説明 をする。
観衆絵本をよんで 見る。

5才. 2.

絵本を見る 指導内容
観衆絵本を教師や 友だちといっしょに 見る。
観衆絵本の中の事物に ついて知っていること を話し合う。
絵本の内容をごっこ あそびや劇あそび などにする。
絵本の内容を理解して 友だちに話す。

5才. 3

絵本を見る 指導内容
友だちといっしょに絵 絵本のひろい読みを する。
物語絵本や続き 童話を読んでもらう のよよろこぶ。

4才. 3.

絵本を見る 指導内容
教師といっしょに物語 絵本を見る。
絵本の内容について 友だちや教師と話し 合う。
絵本を見て簡単な ごっこ遊びや劇あそび をする。

4才. 2.

絵本を見る 指導内容
友だちといっしょに 絵本を見る。
絵本を見ながら友だち と話し合う。
教師といっしょに絵本 を見る。
絵本の中の事物に ついて、知ってい ることを皆の前で 話す。
絵本を大切に、 見たあとにはきちんと 本棚にしまう。

4才. 1

絵本を見る 指導内容
身近な生活をかいた 絵本を見る。
乗り物や動物をかいた 絵本を見る。
絵本の中の事物に ついて話したり 聞いたりする。
自由に好きな絵本 を見る。

# 自然系例表

4 月		5 月		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な草花や動物に親しみ、喜んで世話をする態度を養う。</li> <li>注意して物をみようとする態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花の種類を知りその美しさに気づかせる。</li> <li>動植物の成長と変化に関心をもち継続的に観察する態度を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の大小、軽重を比べ、そのちがいに気づかせる。</li> </ul>	
	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春に咲く草花に親しむ。</li> <li>形色、香が花によって違うことに気づく。</li> <li>スコップやじょうろの使い方を教える。</li> <li>花の美しさに気づく。</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内に咲いている花を見と遊ぶ。</li> <li>本校裏園へ花を見に行く。</li> <li>花壇の草花に水をやり取り草取りをする。</li> <li>花をいけたり花つまみだしたり花びらを拾って遊ぶ。</li> <li>朝顔の移植をする。</li> <li>園内で飼育している動物をみたり餌をさしたりする。</li> <li>身近な動物について話し合う。</li> <li>青虫、毛虫を飼育する。</li> <li>餌をやったり掃除したりする。</li> <li>虫の成長について図鑑をみたり話を聞いたりする。</li> <li>毛虫や青虫を積木、机、網の上などに連れて遊ぶ。</li> <li>さなぎ、蝶をみる。</li> </ul>	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>春に咲く花の種類を知り。</li> <li>花や草などを注意して観察する。</li> <li>花の色、形、香りの違いを知り。</li> <li>草花の入れを遊んでみる。</li> <li>花芽の状態や成長を興味深く観察する。</li> <li>虫の形色、運動の様子食べ物等を観察しその違いに気づく。</li> <li>わからないことは何でも質問する。</li> <li>物の大小、軽重を比べその違いに気づく。</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園生花屋さん、本校の裏園などの花を見に行く。</li> <li>絵にかりたり、つくったりする(花屋さんに行き)</li> <li>植物図鑑や幼虫を見る。</li> <li>野原へ花つまみに行く。</li> <li>園生の草花に肥料をやったり、水をやったりする。</li> <li>コトコト大根や朝顔の種子を蒔く。</li> <li>青虫、毛虫、さなぎを飼育する。</li> <li>昆虫図鑑や幼虫を見る。</li> <li>見たり聞いたりしたことについて話し合う。</li> <li>成長になったものを比べる。</li> <li>からだにふりて話し合う。</li> <li>自分や友だちの身長、体重をグラフで見る。</li> <li>保健図鑑をみる。</li> <li>いろいろな動物や身近な持物の重さをはかりてはめる。</li> </ul>		
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>機械や道具に関心をもちさせる。</li> <li>雨の日、晴れた日などに気づかせる。</li> <li>日なたや日かげの明るさや暖かみの違いに気づかせる。</li> <li>太陽、月、星などに、関心をもちさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の種類や習性と理解し、その生態に興味をもたせる。</li> <li>機械の仕組みや働き、構造に関心をもちさせる。</li> <li>四季の変化の様子に気づかせる。</li> <li>日なたや日かげによる植物の成長の違いに気づかせる。</li> <li>月星などの天体に関心をもちさせる。</li> <li>実験あそびに興味をもち、そのあそびに見られる作用や変化に関心をもちさせる。</li> </ul>	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計の形、音の違いに気づく。</li> <li>木製品、金属製品の区別に気づく。</li> <li>動く玩具に関心をもち。</li> <li>玩具の動きを教える。</li> <li>雨の日、晴れた日などに気づかせる。</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計屋を見学に行く。</li> <li>時計の話をきく。</li> <li>簡単な時計をつくる。</li> <li>動く玩具で遊ぶ。</li> <li>磁石あそびをする。</li> <li>雨の降る様子をみる。</li> <li>雨の日、晴れた日について話し合う。</li> <li>水屋さんどこかへ行くとあそびをする。</li> <li>舟もつくりて浮かべせ遊んだり泳いだりする。</li> <li>かげ、よみあそびをする。</li> <li>かげさうして遊ぶ。</li> <li>月、星をみた経験で話し合う。</li> <li>朝顔を見る。</li> </ul>	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物の種類に関心をもち。</li> <li>動物の食べ物の音の違いに気づく。</li> <li>動物の形の運動の様子に関心をもち。</li> <li>時計の形、音の違いを比べ、その違いに気づく。</li> <li>時計の仕組みについて知る。</li> <li>玩具の構造に関心をもち、内部を観察する。</li> <li>玩具を分解したり組立てたりすることを喜ぶ。</li> <li>梅雨の時の天気の特徴に関心をもち。</li> <li>日なた日かげを比べその違いに気づく。</li> <li>太陽、月、星などに関心をもち。</li> <li>磁石の作用に興味をもち。</li> <li>物の高低、速度を比べる。</li> <li>軽重の違いに気づく。</li> <li>植物の成長や変化に興味をもち継続的に観察する。</li> <li>花の美しさに気づく。</li> <li>野草の種類の違いに気づく。</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動物園へ遊園地に行く。</li> <li>見て来た動物の様子について話し合う。</li> <li>絵本や図鑑、図鑑等をみる。</li> <li>動物の様子を絵にかりたりつくったりする。</li> <li>時計屋を見学する。</li> <li>時計について話し合う。(構造、働き、種類等)</li> <li>動く玩具を使って遊ぶ。</li> <li>玩具を分解したり組立てたりする。</li> <li>梅雨の話を聞く。</li> <li>天気しらべをする。</li> <li>大石を日なたと日かげに植える。</li> <li>星、月をみた経験を話し合う。</li> <li>七夕まつりの話を聞く。</li> <li>磁石を使って遊ぶ遊具をみる。</li> <li>舟も浮かべせ遊ばす。</li> <li>ドライアイスとじわんごで実験あそびをする。</li> <li>朝顔の成長、開花をみる。</li> <li>トマト、アズキなどをみる。</li> </ul>
	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な草花や動物の成長と変化に気づく。</li> <li>身近な物の軽重高低、厚に気づく。</li> <li>日なた、日かげの明るさ、暖かみの違いに気づく。</li> <li>月、星などに関心をもち。</li> <li>植物の成長と喜び。</li> </ul>	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計の形、音の違いに気づく。</li> <li>木製品、金属製品の区別に気づく。</li> <li>動く玩具に関心をもち。</li> <li>玩具の動きを教える。</li> <li>雨の日、晴れた日などに気づかせる。</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時計屋を見学に行く。</li> <li>時計の話をきく。</li> <li>簡単な時計をつくる。</li> <li>動く玩具で遊ぶ。</li> <li>磁石あそびをする。</li> <li>雨の降る様子をみる。</li> <li>雨の日、晴れた日について話し合う。</li> <li>水屋さんどこかへ行くとあそびをする。</li> <li>舟もつくりて浮かべせ遊んだり泳いだりする。</li> <li>かげ、よみあそびをする。</li> <li>かげさうして遊ぶ。</li> <li>月、星をみた経験を話し合う。</li> <li>朝顔を見る。</li> </ul>		

4 オ		5 オ	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>海や山に関心をもちたせる</li> <li>秋の虫の形や動きに関心をもちたせる</li> <li>物の形の違いに気づかせ、物の大小、数量の多少を比べさせる</li> <li>実験のそびに見られる作用や変化に関心をもちたせる</li> </ul>	目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>山、海、川などの美しさに気づかせる</li> <li>集めたものを整理したり、分類したりし、おもいを工夫したりさせる</li> <li>機関車や自動車などの構造や構造などに関心をもちたせる</li> <li>秋の虫の種類を知り、その生態にフッて関心をもちたせる</li> <li>身近な草花の世話をし、植物の収穫の喜びを味わわせる</li> <li>身近な場所の遠近方向位置にフッて注意したり比べたりさせる</li> </ul>
	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海や山へ行った経験を発表する</li> <li>貝殻や昆虫に興味をもつ</li> <li>身近な草花に詳しく</li> <li>昆虫のなまじの道に気づく</li> <li>昆虫の動きに注意してみる</li> <li>飼育している虫に餌をやったりして世話をする</li> <li>野菜、果物の種類に関心をもちたせる</li> <li>野菜や果物の違いに気づく</li> <li>物の大小や数量の多少を比べる</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの経験を話し合う</li> <li>貝殻や昆虫類を持ちよって見せ合う</li> <li>秋の野原へ行く</li> <li>虫取りをする</li> <li>虫を飼育する</li> <li>動物園の動物をみる</li> <li>遊園地のいろいろな乗り物を見る</li> <li>八百屋や果物屋へ行く</li> <li>果物を観察する</li> <li>果物や野菜の形や種子などをみる</li> <li>野菜や果物をつくらせてみる</li> <li>おもいほりに行く</li> <li>パケスカーフ遊びをする</li> <li>運動会をする</li> </ul>		<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山、海、川などにフッて経験したことや感じたことを話す</li> <li>珍しいものをみる</li> <li>形の違いを知る</li> <li>虫の種類や動きに興味をもつ</li> <li>物に注意してみる</li> <li>乗り物の形や種類などに関心をもちたせる</li> <li>天体の美しさに気づく</li> <li>草花を栽培する</li> <li>自分の前後左右を覚える</li> <li>数量の速さに関心をもちたせる</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みの経験を話し合う</li> <li>集めた貝殻や昆虫などをみる</li> <li>秋の野原へ虫取りに行く</li> <li>虫を飼育して観察する</li> <li>駅へ見学に行く</li> <li>乗り物にフッて話し合う</li> <li>絵本や幻灯をみる</li> <li>お月見の経験を話し合う</li> <li>朝顔の種子を取ったり花壇の手入れをする</li> <li>運動会をする</li> <li>おもいほりに行く</li> </ul>
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋の野山の美しさや変化の様子に関心をもちたせる</li> <li>いろいろなものを集めて遊んだり分類したりすることに興味をもちたせる</li> <li>いろいろな種類の果物に興味をもちたせる</li> <li>気温の変化や動植物の冬の生活に関心をもちたせる</li> </ul>	目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節による植物の変化とその美しさに気づかせる</li> <li>物の形の違いを知り、数量に関心をもちたせる</li> <li>日なた日かげ、晴れ日寒、日などを比べ、その違いに気づかせる</li> <li>気温の変化や動植物の冬の生活に関心をもちたせる</li> </ul>
	<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋の野山の種子をみる</li> <li>木の葉の変化に気づく</li> <li>木の葉や木の葉の形、色などを比較して分類しようとする</li> <li>機関車や自動車、電車に興味をもつ</li> <li>木製品、金属製品の区別に気づく</li> <li>草花の世話を喜ぶ</li> <li>暑さ寒さによる生活の変化を知る</li> <li>動植物の冬眠に関心をもちたせる</li> <li>あぶり出しに疑問をもつ</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木の葉や木の葉を拾いに行く</li> <li>秋の野山の種子にフッて話し合う</li> <li>木の葉を比べて遊ぶ</li> <li>木の葉を揉んで製作する</li> <li>いろいろな乗り物を見る</li> <li>乗り物にフッて話し合う</li> <li>絵本や幻灯、幻灯などをみる</li> <li>乗り物をつくる</li> <li>デージーの苗を植える</li> <li>スイトピー、しろし菜の種子を蒔く</li> <li>ヒヤシンス、フロックスの水栽培をする</li> <li>冬の生活にフッて話し合う</li> <li>動物の冬ごもりについて話し合う</li> <li>あぶり出し遊びをする</li> </ul>		<p>指導内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>植物に注意して観察する</li> <li>果物、野菜の種類に関心をもちたせる</li> <li>形の違いや数量を比べる</li> <li>集めたものを整理したり分類したりする</li> <li>集めたものをしまり方を工夫する</li> <li>実験を楽しむ</li> <li>日なたと日かげを比べる</li> <li>動植物の冬の生活のしかりに関心をもちたせる</li> <li>冬に咲く草花の種類に関心をもちたせる</li> </ul> <p>活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種子のそびを見に行く</li> <li>秋の果物、野菜をみる</li> <li>木の葉木の葉を拾いに行く</li> <li>木の葉木の葉を揉んで遊ぶ</li> <li>木の葉木の葉をいろいろなものをつくる</li> <li>パンジー、デージーの苗を植える</li> <li>春咲きの球根を植える</li> <li>ヒヤシンス、フロックスの水栽培をする</li> <li>かげふみあそびをする</li> <li>日光写真をつとめる</li> <li>かげふみとしてはかたり位置などをみる</li> <li>冬の生活、動物の冬ごもりにフッて話し合う</li> <li>水栽培、水仙をみる</li> </ul>

4 才		5 才							
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の方向 高低 位置 速度などに注意したりはげさせたりする。</li> <li>気温の変化に気づかせる。</li> <li>植物の成長や変化に関心をもたせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風の方角 速度などに気づかせ、重心 平律 などに付いて工夫する、態度を養う。</li> <li>実験あそびに見られぬ作用や、変化に疑問をもたせる。</li> <li>季節による植物の変化に関心をもたせ、自然の不思議さを感じとらせる。</li> </ul>							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指導内容</th> <th>活動例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>風あげに興味をもつ</li> <li>月の方向に気づく</li> <li>風あげを工夫する。</li> <li>速度に気づく。</li> <li>雨と雪の違いに気づく。</li> <li>実験に興味をもつ</li> <li>草花 木などを注意してみる。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>風あげをする。</li> <li>コマ廻しをする</li> <li>水や雪霜をみる</li> <li>雪で遊ぶ。</li> <li>氷つくりをする。</li> <li>フレームの草花、庭の木の芽などをみる</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	指導内容	活動例	<ul style="list-style-type: none"> <li>風あげに興味をもつ</li> <li>月の方向に気づく</li> <li>風あげを工夫する。</li> <li>速度に気づく。</li> <li>雨と雪の違いに気づく。</li> <li>実験に興味をもつ</li> <li>草花 木などを注意してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風あげをする。</li> <li>コマ廻しをする</li> <li>水や雪霜をみる</li> <li>雪で遊ぶ。</li> <li>氷つくりをする。</li> <li>フレームの草花、庭の木の芽などをみる</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>準内容</th> <th>活動例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>風の方角に気づく</li> <li>風あげの仕組みの働き方などを工夫する</li> <li>速度に気づく</li> <li>わからないことを進んでみる。</li> <li>実験あそびを楽しむ。</li> <li>物の形の変化や質のちがいに気づく。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>風をつくる。</li> <li>風あげに行く。</li> <li>コマ廻し、車などをする。</li> <li>水栽培の成長を観察する。</li> <li>雪氷霜をみたり話したりする。</li> <li>雪氷をとかしたり固めたり、温度をはかってみたりする。</li> <li>ラッセル車や雪、冬の景色に付いて絵本をみたり話したりする。</li> <li>フレームの草花、園庭の草花をみる。</li> <li>芽のふくらみを見る。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	準内容	活動例	<ul style="list-style-type: none"> <li>風の方角に気づく</li> <li>風あげの仕組みの働き方などを工夫する</li> <li>速度に気づく</li> <li>わからないことを進んでみる。</li> <li>実験あそびを楽しむ。</li> <li>物の形の変化や質のちがいに気づく。</li> </ul>
指導内容	活動例								
<ul style="list-style-type: none"> <li>風あげに興味をもつ</li> <li>月の方向に気づく</li> <li>風あげを工夫する。</li> <li>速度に気づく。</li> <li>雨と雪の違いに気づく。</li> <li>実験に興味をもつ</li> <li>草花 木などを注意してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風あげをする。</li> <li>コマ廻しをする</li> <li>水や雪霜をみる</li> <li>雪で遊ぶ。</li> <li>氷つくりをする。</li> <li>フレームの草花、庭の木の芽などをみる</li> </ul>								
準内容	活動例								
<ul style="list-style-type: none"> <li>風の方角に気づく</li> <li>風あげの仕組みの働き方などを工夫する</li> <li>速度に気づく</li> <li>わからないことを進んでみる。</li> <li>実験あそびを楽しむ。</li> <li>物の形の変化や質のちがいに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風をつくる。</li> <li>風あげに行く。</li> <li>コマ廻し、車などをする。</li> <li>水栽培の成長を観察する。</li> <li>雪氷霜をみたり話したりする。</li> <li>雪氷をとかしたり固めたり、温度をはかってみたりする。</li> <li>ラッセル車や雪、冬の景色に付いて絵本をみたり話したりする。</li> <li>フレームの草花、園庭の草花をみる。</li> <li>芽のふくらみを見る。</li> </ul>								

社会系例表 大

4

学年  
学期

- 1 幼稚園の先生や友達に話しあわせる。
- 2 教師の指示に従って自分で出来る事は出来るだけ自分でさせる。
- 3 幼稚園の生活に馴れ施設や道具の使い方を知らせる。

一学期

指導	活動例	指導事項	活動例
自分の持ち物はきり取られた 所に捨てた。自分では 取戻し出ない。場合によ り先生に言いつける。 仕事や遊びの片付けを 教師と一緒にする。 自分で持ち物の場所を 自分で決めた場所におく。 水道を使ったあと栓をし める。	靴、カバンなど自分の場所 におく。 仕事前後エプロン着 脱する。 幼稚園の道具(三輪車、片付 けの靴、カバン、自由画帳 など)の場所を自分で決 める。水あらいの手洗 いをしめる。	幼稚園の教師や友達と 遊ぶ。 誰と遊ぶかを決める。 遊びの順番を決める。 交通のきまりを守って歩 く。 幼稚園のきまりを守って歩 く。 幼稚園のきまりを守って歩 く。	この幼稚園のあそびを 知る。 幼稚園の時間「おはなす」 などの時間を知る。 幼稚園のきまりを守って歩 く。 幼稚園のきまりを守って歩 く。

近隣社会の理解

指導	活動例
幼稚園の部屋、遊具の 場所を知る。 園庭の道を通る。 交通のきまりを守って歩 く。 生活する人々に感謝の 気持ちを伝える。	幼稚園の部屋、遊具の 場所を知る。 園庭の道を通る。 交通のきまりを守って歩 く。 生活する人々に感謝の 気持ちを伝える。

1 集団生活のきまりをよく守れるようになる。

指導	活動例	指導事項	活動例
靴の紐を自分で結ぶ。 遊具の持ち物はきり取 られた場所に出ない。 片付けをする。 仕事や遊びのあと片付 けをする。	身体検査の場所と脱いだ 衣服は自分のエプロン の中へまとめておく。 三輪車、積木、片付け の靴、カバン、自由画 帳などの片付けをする。 水あらいの手洗いをし める。	友達の仕事の邪魔をしな いようにする。 遊具や道具が友達に使 っている時は順番を守 り遊ぶ。 幼稚園のきまりを守 って遊ぶ。 幼稚園のきまりを守 って遊ぶ。	や他の遊園地を共同 して遊ぶ。 幼稚園のきまりを守 って遊ぶ。 幼稚園のきまりを守 って遊ぶ。

指導	活動例
身近に働く人々の仕事と 知り感謝の気持ちを 伝える。 身近にある建物の名前 を知る。 気になった人と助け合 う。	道徳科に行き、働く人 々の仕事を見たり、玩具 屋さん、八百屋さんへ見 学に行く。 幼稚園へ落ち葉やドング リを持って行く。 電車に乗って、おやめ 地へ行く。 公園で遊ぶ。

社会系例表

4

学年  
日原  
学期

- 1 小人数の友達と協力して仕事をしたり遊んだり出来るようにする。
- 2 特定の友達だけでなく、クラスの友達と遊ぶようにする。
- 3 身近な人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。

指導	活動例	指導	活動例	近隣社会の理解
仕事を二人でやる。 仕事を二人でやる。時間を決めてやる。 色紙などの紙を大切に使う。 道具を大切に使う。 物を汚した時は教師に言う。	教室の掃除をやる。 教室の掃除をやる。 教室の掃除をやる。 教室の掃除をやる。 教室の掃除をやる。	友達の好きなものを調べる。 友達の好きなものを調べる。 友達の好きなものを調べる。 友達の好きなものを調べる。 友達の好きなものを調べる。	近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。	近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。 近所の人々の仕事を知り、感謝の気持ちをもたせる。

# 社会の指導系列表 (5才児)

	自 立		集 団 生 活		近 隣 社 会 の 理 解		
目 標	指 導 内 容	活 動 例	指 導 内 容	活 動 例	指 導 内 容	活 動 例	
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年長組としての自覚を持ち、新しいお友達に親切にする</li> <li>○ グループに割当てられた仕事は皆を協力する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱いだ衣服はきちんと整理しておく</li> <li>・仕事や遊びに使うものは自分で用意する</li> <li>・仕事やお遊びに使ったものを整理して片付ける</li> <li>・材料は必要だけとる</li> <li>・仕事を熱心にする</li> <li>・仕事を工夫してする</li> <li>・物を紛失したら教師に届ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体測定の時脱いだ衣服をたんでまとめておく</li> <li>・楽器あそびをする など楽しめるから必要なものを出して来たり、すんだ後片付けたり出来る</li> <li>・製作などする時色紙など入用と思うだけ考えてとる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や教師に自分からあいさつをする</li> <li>・年少組の友達に親切にする</li> <li>・他の組の友達ともあそぶ</li> <li>・特定の友達をのけものにしない</li> <li>・友達に迷惑をかけたら謝る</li> <li>・道具は分け合ったり代りあったりして使う</li> <li>・友達の仕事やお遊びのじゃまをしない</li> <li>・グループの仕事は皆で話し合う、話し合って役目を代り合う</li> <li>・協力の成果をよこす会や遠征途中友達の家によこす特別な場所へ行く時は許しを得る</li> <li>・部屋や廊下を走らない</li> <li>・幼稚園の施設や道具は大切に使う</li> <li>・幼稚園の時間のきまりを守る</li> <li>・物を紛失したら教師に届ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お早ようなどのあいさつは自分から進んで言う</li> <li>・ごっこあそびに誘いにいって一緒にあそんであげたり、フォークダンスに誘ってあげて一緒に踊ったりする</li> <li>・製作の時などに一つしつないきりなどは仲良く代り合って使う</li> <li>・花屋さんでごっここときなど役目を話し合って決める</li> <li>・物が取った動物を助けて動物園でごっこをする</li> <li>・幼稚園金水よそへやる時は取柄に告げる</li> <li>・水道の栓をきこんとしめたり、ままごと道具など取ったあときれいにする</li> <li>・各園門前におくれぬようにし、朝食などのレコードがなかったら直ぐに後片付けをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式に参加する</li> <li>・身近に働く人々の生活を知り感謝の気持ちをもつ</li> <li>・機械が生活に役立っていることを知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいお友達を迎える劇のけいごをしたり部屋をみぎったりして入園式を待つ</li> <li>・入園式に新しい友達を迎えるあいさつをする</li> <li>・花屋や時計屋を見学に行く</li> <li>・交通標識の話しをきき交通標識の指揮に従って正しい交通の仕方を学習する</li> <li>・田の日は幼稚園で作ったものを上げたりお手伝いをしてあげたりする</li> <li>・ゴーストバス、時分電車バスなどの役割を自分だけの経験によって考える</li> </ul>
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループで話しあったり協力して仕事をしたり出来るようになる</li> <li>○ 近隣社会に働く人達の様子を知り感謝の気持ちをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をやりきこねたらまたやり直す</li> <li>・最後まで仕事をやりこねる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りのパノラマを作る時など失敗しても提出をしないでやり直しをする</li> <li>・友達のあやまちを非難しない</li> <li>・けんかが起ると話し合って自分達で解決する</li> <li>・友達がほかの組でよろこんで上はする</li> <li>・リーダーは簡単なことをせすよく人の意見を聞く</li> <li>・グループの役割を協力して果たす</li> <li>・協力の成果をよこす会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで製作している時など友達が失敗してもあきらまない</li> <li>・競技で勝った友達に拍手する</li> <li>・のり物ごっこをしたり、遊びをするとき、リーダーになっても自分勝手ばかりしないでよく話し合う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会をたのしんで待つ</li> <li>・新しい競技用具の使い方を覚える</li> <li>・赤い羽根運に参加する</li> <li>・身近に働く人々の仕事を知り感謝の気持ちをもつ</li> <li>・建築物、機械などが生活に役立っていることを知る</li> <li>・自分達の住んでいる街に親しみをもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会の準備や競技などのけいごをし運動会当日は一生懸命にする</li> <li>・色紙などの材料を節約して募金にあてる</li> <li>・電車やケーブルにのって生駒山へ行く</li> <li>・バスにのっていてもほりに行く</li> <li>・和川川を見に行く</li> <li>・茶屋公園、茶屋の街を見てまわる</li> <li>・警の街の様子を見る</li> </ul>	



期

- 仕事やおそひの後自分が使ったものでなくても手拭って片付ける
- 残った材料でまだ使えるものは整理しておく
- 教訓や反慮への約束を守る

- 製作のあとの部屋の片付けや、解團の時の園内遊具の片付けなど遊んでやる
- 製作のあとの片付けの時まだ使えるものはバケツに整理してとっておく

- 幼稚園の絵画製作展に喜んで参加する
- 街で行われる行事に興味と関心をもつ
- お正月をたのしむ待つ

- おん祭を見る
- 羽子板やかるた作りをしてお正月を待つ

目標

○仕事や遊びについて友達同志で相談して計画したり出来る様になる

三学期

- 仕事をやりをこねたら又やり直す
- 劇など自分を替えて熱心にする
- 最後まで仕事をやりとげる

• お家ごっこに使う道具を作る

- 各レールの役割は協力して果す
- リーダーは勝手なことをせずよく人の意見をきく
- 友達が悪いことをしたらほめてあげる
- 自分達の保管室をきれいに整理する

• 郵便ごっこやお家ごっこなどでの役割が決ったら友達と相談して客を協力して役割を果す

- 劇あそびなどでの室の上手な所をみつけてほめる
- 終了式の前後と特に遊具の整理をしたり自分の名札をきれいにしたりなどして次に来る友達のために部屋をきれいにする

- 身近に働く人々の仕事を知り感謝の気持ちをもつ
- 林檎の特産や構造に興味をもつ

• 卒業式に参加する

- お家ごっこをしてあそぶ
- 郵便ごっこをしてあそぶ
- 幼稚園で給食の世話をし下さるおばさんにありがとうを言う
- ミルク、ヨーグルト工場を見学に行く

備考

健康指導系列表 (保健)

項目	4	中	小	学	生	生
項目	清潔	食 事	排 便	衣 服	休 息	予 防
<p>1</p> <p>入浴 洗髪 かつら四りなど とこいやはから下にする。</p> <p>仕事や遊ばかたをこまめに たすはし顔をきれいにし てもらう。</p> <p>せけんや消毒液を使った 手を洗う。</p> <p>朝夕歯をみがく。</p> <p>食後や外出後けしめんを する。</p> <p>いせいのすけけをこま めに洗う。</p> <p>手ぬぐいやハンカチはこ れがものを又使う。</p> <p>うりぬぐいやハンカチはこ まめに洗う。</p> <p>手洗場・牛乳場へ使 うを教える。</p>	<p>食事・おにぎりを洗う。</p> <p>簡便な食事・準備・後か たすけはこまめに片付け をする。</p> <p>食料をよこから入る食べ る。</p> <p>立ったり歩きまわらな しなかに食事をする。</p> <p>床に落ちたものを拾って かきとるか片付ける。</p> <p>口の中を食のこりを入 れまわすのをやめる。</p>	<p>便所・行くときは下靴を はく。</p> <p>便所で排便する。</p> <p>排便を失敗したらいせか らさかて便所にこめて如 手してもらう。</p> <p>用便後は心手紙を洗って 始まる。</p> <p>用便後は消毒液を使った 手を洗う。</p> <p>仕事や食事・睡眠の時に用 便する。</p> <p>用便にはいさぐさうら かき人しやがて教師にい って行く。</p>	<p>てきたらけい今で衣服と 脱いだり着たりする。</p> <p>衣服・着脱が自分でき ることは教師にこまめに 手つたつてもいい。</p> <p>靴は左右をまちがえ方 はく。</p> <p>室内では上靴をはく。</p> <p>仕立を直すときはスモ ックを着る。</p> <p>暑くときは日よけをぬぐ。</p>	<p>運動や食事のあとには静 かに休む。</p> <p>準備運動をする。</p> <p>人と人・ヒマを空けたら 他人たりにさかすかす する。</p>	<p>指や爪のやけどを口に入 れず。</p> <p>いせのものや消毒液を は口に入れず。</p> <p>いせのものや消毒液を は口に入れず。</p> <p>海軍に異物を入れず。</p> <p>ハンカチや歯ブラシは身 分・ものを又使う。</p> <p>予防注射や身体検査はこ まめに受ける。</p> <p>排便を受ける。</p> <p>駆虫剤をいせがらさか す。</p> <p>身体検査測定をこまめに 受ける。</p> <p>けりせのせいのせいのせ いせ。</p> <p>炎天下では帽子をかぶる。</p> <p>雨の中では傘をかぶる。</p> <p>炎天下では水筒をいせ。</p> <p>からたの具合が悪くや るときはいせがらさか す。</p>	

2

入浴 洗髪をして肌をきれいにする。

ツルツル、耳垢とりをいれながらすすいでもらう。

仕事や遊びのあとにこれたうしをきれいにする。

手洗いの場、水飲場などをきれいにする。

紙くすはきみら水たしにちろに捨てる。

共同のコップ、食器などは使用後、洗っておく。

簡単な食事の準備やあと片付けは自分でする。

食事の後はしばらく静かにする。

食物をよくかんでこぼさないように食べる。

きれいなものをかきしついで、食器をきれいにする。

食事中はあまり大げさな声で話さない。

大便秘結をなるべく登園前に予防しておく。

用便はするべくトイレの時間に行きまわすようにする。

用便中、用便後は便所の片をつける。

便所や衣服をきれいにするべくまめに掃除するように排便する。

衣服が汚れたり、ホコリがこぼれたりしたら教師に知らせる。

衣服をきれいにする。

寒くときは教師に知らせ、衣類を調節してもらう。

静かに休息する。

直射日光の所や暗いところを、絵本を見たり、絵をかいたりする。

予防注射や身体検査をうける。

駆虫剤を飲む。

身体、体重測定などを受ける。

からだのくまみや悪くなったときは教師に知らせる。

3

ぬれた手足はよく拭く。

汗をかいたとき。

きれいなものをかきしついで、食器をきれいにする。

姿勢よく楽しく食事を食べる。

便所や衣服をきれいに掃除する。

寒くてもあまり厚着をしない。

衣服をきれいにする。

室内では帽子、手袋などを脱ぐ。

せせやくしゃみのせきや鼻はなをかきとる。

肌にあかきれに塗るをいれぬれた手足はよく拭く。

汗をかいたときや暑いときはこまめに汗をかきとる。

病気にやられたときはよく休んでいただく。

項	清潔	命手	排便	衣服	体息	于才
<p>11</p> <p>大小頭髪 一つずつを いっしょに洗はしてはいる。</p> <p>洗髪や髪洗いの時に 水たずんや髪洗いの 水たずんにはいる。</p> <p>汗 多量とみかく。</p> <p>洗髪かたにき水は む。</p> <p>手洗いのハンカチは 水たずんに入れて洗 たす。</p> <p>洗髪かたに落ちた 髪を水たずんに捨 てる。</p> <p>洗髪かたに使用し た用紙や紙は水た ずんに入れておく。</p> <p>手洗場や水飲場は 水たずんに入れて洗 す。</p> <p>汗が大量とみかく。</p>	<p>食後の手洗いを 必ず行う。</p> <p>歯磨き 必ず行う。</p> <p>歯磨きの時 必ず 歯磨き粉を使う。</p> <p>歯磨き粉は必ず 歯磨き粉を使う。</p> <p>歯磨き粉は必ず 歯磨き粉を使う。</p> <p>歯磨き粉は必ず 歯磨き粉を使う。</p>	<p>排便は必ず毎日 行う。</p> <p>排便の時 必ず 排便剤を使う。</p> <p>排便剤は必ず 排便剤を使う。</p> <p>排便剤は必ず 排便剤を使う。</p> <p>排便剤は必ず 排便剤を使う。</p>	<p>衣服は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p>	<p>体息は必ず毎日 取る。</p> <p>体息は必ず毎日 取る。</p> <p>体息は必ず毎日 取る。</p> <p>体息は必ず毎日 取る。</p> <p>体息は必ず毎日 取る。</p>	<p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p>	
	<p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p>		<p>衣服は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p> <p>洗濯は必ず毎日 洗濯する。</p>		<p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p> <p>才学は必ず毎日 勉強する。</p>	

2	<p>食物の好むものをいかに          多く食べさせるか          注意する。</p>		<p>ガラスの破片が飛ん          だらば、早く教師に          知らせる。</p> <p>テレビを見るときは適当な          距離をみて見る。</p> <p>ラジオ、テレビは適当な          音量で聞く。</p> <p>日光にあたる。</p>
3	<p>食事の準備に気を付けて          箸を早くしるし、          食事をとる。</p>	<p>室内、外へ衣服を自分で          調節する。</p>	<p>感音にかかりやすいように          注意する。</p> <p>ぬいぐるみやけいごを          けいごに近づけず、          けいごの手をさわ          ない。</p>

避難の練習をする。

- ・火事や地震のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。
- ・火事や地震の避難訓練のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。

逃げ場の手当をみる。

- ・運動の設備や用具の使用方法を知る。
- ・こわれた道具は使わない。
- ・友だちの使っている道具は、おりに取らない。
- ・使った道具や用具は、さき取りしと片づける。
- ・教師の目印とかがないときは、逃げ場をみる。

危険なもの、そばへ近づかない。

- ・危険なもの、動物や毒虫などへ近づかない。
- ・毒草にさわらない。
- ・ストーブのそばで遊ぶときは、おりに取らない。
- ・ガラスの破片や、こわれた道具のそばへ近づかない。
- ・はさき、鋸、のこぎり、おりに取らない。

けいごの手当をみる。

- ・けいごをしたとき、教師に知らせる。

災害の起るないように注意する。

- ・危険な場所へ近づかない。
- ・危険な道具や、乱暴な遊びをしない。
- ・道具や用具がこわれたら、早く教師に知らせる。
- ・ガラスの破片や、こわれた道具のそばへ近づかない。教師に知らせる。
- ・木工用具など、おりに取らない。持つときは、おりに取らない。
- ・危険な動物や植物のそばへ近づかない。
- ・ストーブのそばで遊ぶときは、おりに取らない。

けいごの手当をみる。

- ・けいごをしたとき、教師に知らせる。

# 健康(安全)指導表

学年  
目標  
学期

4 オ

事故が起らないように注意をする習慣をつける。

交通のまわりを守る。

- ・ 右側を歩く。
- ・ 道路の横断は信号をよく見て青(緑)のときに通る。
- ・ 道路を横断するときには左側をよく見てから通る。
- ・ 道路を歩くときは、ふだけたりいたずらししない。
- ・ 道路を越へない。

乗り物についてのまわりを守る。

- ・ 乗り物の乗り降りのはじめを知る。
- ・ 乗り物は順番を守り、また乗り降りする。
- ・ 乗り物の危から手顔を出さない。

避難の練習をする。

- ・ 火事や地震のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。
- ・ 火事や地震の避難訓練のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。

遊び場のまわりを守る。

- ・ 遊び場の設備や用具の使い方を知る。
- ・ こわれた道具は使わない。
- ・ 危ないもの使っている道具は、おりに取らない。
- ・ 使った道具や用具は、こぼさずおりに片づける。
- ・ 教師の目撃したものは、こぼさずおりに片づける。

危険なものには近づかない。

- ・ 危険なものや動物や毒虫などに近づかない。
- ・ 毒草にさわらない。
- ・ ストープのそばでもさわらない。火をつけておかない。
- ・ ガラスの破片や、こわれた道具のそばへ行かない。
- ・ ほまきや持ちこたない。おりに片づける。

けがの手当をうける。

- ・ けがをしたら教師に知らせ、おりに片づける。

5 オ

- 1 安全についてのまわりを知り、これを守る態度を養う。
- 2 災害が起らないように注意をする態度を養う。

安全についてのまわりを守る。

- ・ 交通のまわりを守る。
- ・ 乗り物は順番を守り、乗り降りし、危から手顔を出さない。
- ・ 乗り物のまわりを走り回らない。
- ・ 火事や地震のときは、必ず教師の指示にしたがって早く避難する。
- ・ 火事や地震の避難訓練のときは、必ず教師の指示にしたがって早く避難する。
- ・ 遊具や用具の設備は、こぼさずおりに片づける。
- ・ 遊具や用具は、こぼさずおりに片づける。
- ・ 木工作具は、こぼさずおりに片づける。

災害の起らないように注意する。

- ・ 危険な場所には近づかない。
- ・ 危険な道具や乱暴な道具は使わない。
- ・ 遊具や用具がこわれたら、すぐ教師に知らせる。
- ・ ガラスの破片や、こわれた道具のそばへ近づかない。教師に知らせる。
- ・ 木工作具は、こぼさずおりに片づける。
- ・ 危険な動物や植物のそばへ近づかない。
- ・ ストープのそばでもさわらない。

けがの手当をうける。

- ・ けがをしたら、すぐ教師に知らせ、おりに片づける。



入浴 洗髪をししは小を  
 き水にしよう。  
 つれ切り 耳垢とりをい  
 らがらすにしよう。  
 仕事や近頃のあとご化  
 した手洗で水をいれよう。  
 手洗の場、水飲場のとき  
 も水にしよう。  
 紙くずはきみ、水たしこ  
 ろに捨てる。  
 共同のコップ、盆、鉢を  
 人などに使用後、洗、け  
 らう。

前軍や食料の準備や火  
 をたすけは自分でやる。  
 食料の準備はしばらく静か  
 にやる。  
 食料をまくかんでこぼさ  
 ないようにする。  
 さらし物も、よく洗って  
 干すようにする。  
 食事中はあまり大声で  
 話さない。

大便のやりかた、便器の  
 準備をしておく。  
 用便のときは、さきよ  
 して時間をあけてやる。  
 用便中、用便後、便所  
 の手洗いをする。  
 便所や衣服をすすぐま  
 らぬように排便する。

衣服の下は水たまり、ホリ  
 ンがとれたりしたら  
 洗い、干すようにする。  
 衣服をさらして干すに  
 する。  
 寒くときは、寝具に  
 ついて調節しよう。

静かに休息する。

直射日光の所や暗いところ  
 などで、絵本を見たり、読  
 書したりしよう。  
 予防注射や身体検査をう  
 ける。  
 駆虫剤をのむ。  
 身体、身体測定などを受  
 ける。  
 からだよくしようが、悪くし  
 たら、これは教師に知らせ  
 る。

ぬき、手洗はよくする。  
 手洗をかむ。

さらし物も、よく洗  
 い、干す。  
 半着半脱の半着をやる。

便所や衣服をすすぐま  
 らぬように排便する。

寒くときは、リボンや  
 靴をはく。  
 衣服をすすぐたり、  
 乾燥したりする。  
 室内では、帽子、手  
 袋をはく。

七五やくし、おどろき  
 は、ハンカチや手拭をい  
 る。  
 かい、おどろきにさらす  
 ようにぬき、手拭はよく  
 洗う。  
 手拭、手拭、手拭をい  
 に入れて洗う。  
 手がぬい、手拭を洗  
 う。  
 病気にさらしたら、よく  
 休む。



期	清潔	食 事	排 便	衣 履	休 息	予 防
11	<p>風呂 髪洗 つゆをとり いもを水に洗はる。</p> <p>仕事や遊ばしは入浴しな 水の手洗や洗面、風呂を よく洗いにする。</p> <p>朝、夕食こめかく。</p> <p>仕事が終わると水を洗は る。</p> <p>手洗いや水鉢場はきれ いに洗い水を洗はらう教 師に知らせぬ。</p> <p>汗が出たらしく。</p>	<p>食事をよく噛み砕く。</p> <p>清潔、食後の準備や拭き 掃除等は責任をもち、</p> <p>食後の掃除や食器の洗 浄は一人づつ、命令を 守る。</p> <p>食後には水を飲む。</p>	<p>排便の準備は前日、1日 前に行う。</p> <p>大便の準備は責任をもち、 準備はよくしておく。</p> <p>便所に入る時は手洗 いをする。便所の掃除 は責任をもち、よく 掃除をする。</p> <p>便所に入る時は手洗 いをする。便所の掃除 は責任をもち、よく 掃除をする。</p>	<p>衣服の着脱は命令を 守る。着脱の準備は よくしておく。</p> <p>衣服の洗濯はよく 洗う。洗濯の準備は よくしておく。</p> <p>衣服の着脱は命令を 守る。着脱の準備は よくしておく。</p> <p>衣服の洗濯はよく 洗う。洗濯の準備は よくしておく。</p>	<p>病気の予防は命令を 守る。病気の予防は よくしておく。</p> <p>運動や食後の準備は よくしておく。</p> <p>午睡の準備は命令を 守る。午睡の準備は よくしておく。</p> <p>午睡の準備は命令を 守る。午睡の準備は よくしておく。</p>	<p>病気の予防は命令を 守る。病気の予防は よくしておく。</p> <p>運動や食後の準備は よくしておく。</p> <p>午睡の準備は命令を 守る。午睡の準備は よくしておく。</p> <p>午睡の準備は命令を 守る。午睡の準備は よくしておく。</p>
		<p>Fの準備、命令を守る。</p> <p>お風呂の準備はよく しておく。</p>		<p>衣服を着た後、手洗 いをする。手洗いの 準備はよくしておく。</p>		<p>運動や食後の準備は よくしておく。</p> <p>午睡の準備は命令を 守る。午睡の準備は よくしておく。</p>

2

金物の取り扱いをわきまをもち、  
金庫の鍵を金へる。

からななく、  
「なまは、早くお師に  
いって手当を付ける。

テレビを見ることは適當な距離を  
とる。

ラジオ・テレビは適當な音響  
が聞く。

日光にあたる。

感傷にかかりないように  
注意する。

いびきや汗にさらさないように、  
ぬれた手足をよくかく。

3

食事の調理に気をつけて、  
箸を早く話し、  
食事を済ませる。

室内・外の衣服を自分で  
調節する。

避難の練習をする。

- ・火事や地震のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。
- ・火事や地震の避難訓練のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。

逃げ場の手当を付ける。

- ・避難の設備や用具の使い方を知る。
- ・木製の器具は使わない。
- ・ガラスの使っている器具は、むりに取らない。
- ・使った器具や用具は、できるだけ早く片づける。
- ・教師の月とどきの呼びかけに、素早く逃げ出す。

危険なものそばへ近づかない。

- ・危険なものを物物や高圧電線へ近づかない。
- ・毒草にさわらない。
- ・ストーブのそばでもくもく煙を吐いて逃げない。
- ・ガラスの破片や、木製の器具のそばへ行かない。
- ・ほこりを持ちこたない。ふりまわらない。

けがの手当を付ける。

- ・けがをしたら教師に「い、いやがらう」の手当を付ける。

火災の起らないように注意する。

- ・危険な場所を避ける。
- ・危険な火や乱暴を避ける。
- ・器具や用具がこぼれたら、早く教師に知らせる。
- ・ガラスの破片や、木製の器具のそばへ行って知らせる。
- ・木工用具など、ふりまわらない。持ちこたない。
- ・危険な物や植物のそばへ近づかない。
- ・ストーブのそばでくもく煙を吐かない。

けがの手当を付ける。

- ・けがをしたら早く教師に「い、いやがらう」の手当を付ける。

# 健康(安全)指導表

年令 目標 学期	4 才	5 才
	<p>事故の起らないように注意をする習慣をつける。</p> <p>交通のまわりを守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>右側を歩く。</li> <li>道路の横断は信号をよく見て右(緑)のときに通る。</li> <li>道路を横切るときは左側をよく見てから通る。</li> <li>道路を歩くときは、手を付けたりいたずらしない。</li> <li>道路を越はさない。</li> </ul> <p>乗り物についてのまわりを守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗り物の乗り降りのはじめを知る。</li> <li>乗り物は順番を守って乗り降りする。</li> <li>乗り物の窓から手を出さない。</li> </ul> <p>遊具の取り扱いを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火や火器のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。</li> <li>火や火器の避難訓練のときは、教師の指示にしたがって早く避難する。</li> </ul> <p>遊具場のまわりを守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の設備や用具の使い方を知る。</li> <li>こわれた遊具は使わない。</li> <li>なやまの使っている遊具は、むりに取らない。</li> <li>使った遊具や用具は、きれいにして片づける。</li> <li>教師の月ごとかきとりのことを知る。</li> </ul> <p>危険なもの、そばへ近寄らない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険なもの、動物や毒物などへ近寄らない。</li> <li>毒草にさわらない。</li> <li>ストーブのそばでもえや火のこぼれをしない。</li> <li>ガラスの破片や、こわれた遊具のそばへ行かない。</li> <li>はまかに持つとや、たり、おりにおいたりしない。</li> </ul> <p>けがの手当をさける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けがをしたら教師に……いやがらすに手当をさける。</li> </ul>	<p>1 安全についてのまわりを知り、これを守る態度を養う。</p> <p>2 安全の起らないように注意をする態度を養う。</p> <p>安全についてのまわりを守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通のまわりを守る。</li> <li>乗り物は順番を守って乗り降りし、窓から手を出さない。</li> <li>乗り物に手を付けたりおいたりしない。</li> <li>火や火器のときは、必ず教師の指示にしたがって早く避難する。</li> <li>火や火器の避難訓練のときは、遊具や運動の設備は、これを守りながら大切に使う。</li> <li>遊具はきれいに、順番を守って使う。</li> <li>木工用具は、まわりを守って使う。</li> </ul> <p>危険の起らないように注意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な場所を越はさない。</li> <li>危険な遊具や乱暴な遊具をしない。</li> <li>遊具や用具がこわれたら、すぐ教師に知らせる。</li> <li>ガラスの破片や、こわれた遊具を危険なものがあったら教師に知らせる。</li> <li>木工用具をこぼしたり、おいたり、持ったままにしない。</li> <li>危険な動物や植物のそばへ近寄らない。</li> <li>ストーブのそばでもえや火のこぼれをしない。</li> </ul> <p>けがの手当をさける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>けがをしたらすぐ教師に……いやがらすに手当をさける。</li> </ul>

目 標	いろいろな遊びのしかた、遊具の正しい使い方を知り、楽しく遊べるようにする					
月 指 導 並 に 配 慮	四	五	六 七	九	十 十一	一 二 三
ぶらんこ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時は安全定着をもとにせよと注意させる</li> <li>・健康状態に留意し家庭と連絡のもとに日ごと活動に無理のないようにする</li> <li>・教師を中心に種々の遊びをし遊具に親しみ、楽しく遊ばせる</li> <li>・遊具を危険な使用をもしないように約束する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外休養月に出かけ、遊んで歩くときのきまりを守らせる</li> <li>・合図によりゲームをはじめる</li> <li>・玉転がしをする (かきつばたなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに向うたの、適時に休息をとらせる</li> <li>・遊びにむかひよりがむきやぶらぶらと遊ばすように注意し、いろいろな遊びをさせる</li> <li>・いろいろな遊びに遊具を利用させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団で行なう遊びを多くする</li> <li>・種々の遊具を使用させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟性、平衡機能を養う</li> <li>・友だちとやる運動をよくみるようにする</li> <li>・円形、縦列に早く並ぶようにする</li> <li>・寒さに向うとも、園外で、元気に遊ばせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園外で元気に遊ばせる</li> <li>・正しい姿勢で活動させる</li> <li>・全身を使う活動もさせる</li> </ul>
すべり台	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段より上って滑走面に降りて滑走面を滑り降りてすべる</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・滑走面と並に滑る</li> </ul>
固定円木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円木上に立つ</li> <li>・円木上を前向きに歩く</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・円木上を、手を水平に広げて歩く</li> <li>・しゃんけんて落し、こぼす</li> <li>・円木上よりとぶ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・這って渡る</li> <li>・円木上よりとびくしゃまする</li> </ul>

a

b

c

月	四	七	九	十二	一	三
太鼓橋	・さんの上側を登る位置になり一段上る ・さんの上側を登って上まで行く				・さんの下側から手足を伸べてから下リフフ登る	d
空梯						e
砂場	・すきを物を作る ・砂場でままと とす		・大きな穴と堀 ・たり山にした りする			f
低鉄棒	・にぎる ・にぎったま 足をすげさせて こぐ		・わきの下に鉄 棒をはえて ぶら下る ・にぎって直立し 片足と両手間の 棒にのりて 他方の足と地 面よりはずして ぶら下る		・両足と前から 上げ、両手間 棒はつけて、又 もとへもとす	g
箱車	・空の車を押す ・遊具など のせて押す		・友だちを うせて押す			h
ボール	・大のボールを ころがす ・ころがって来た ボールをうけと める ・大ボールを、目標 物めがけて ころがす （ボール投げたおし など） ・ボールをつく ・ボールを投げる （下手投げ）		・大ボールを持 て走る ・壁のり（リレー） ・小ボールで上手 投げをする ・投げや、投げる まわり入れ など ・三波しボール送 りをする ・円に当たると りへ送る ・大ボールを目標 物めがけて投 げる ・ボール投げたおし 円砂ドッジ など	（上手投げ） 下投げ） ・大ボールを投げて もらうてうけと める ・球けりをする ・置いてある球を 一きでける ・大ボールで、マリ つきをする ・大ボールをころが して、相手とやり とりをする		i

	三	一	十三	九	七	四	月
い		自分や竹にす がってすべり下 リテ		平信ツてもらうて 町をもつて すべり下リテ		にやいろ にぎつたまゝ・体 を振る にぎり足に棒を はさんで・少し 向体と支えろ	登リ棒 (ツルム シム)
い						のぼり瀬につ かまる のぼつたり下 りたりする	登リ網 (ツルム シム)
い				上前へ・交互に 足をふみ出して ゆつくり歩く		のぼつて 台上 に立つ	平均台
い	後向きに歩く (直線) いざもつて押し 出してつまずく かかんでいざと かかると・前後に 振る ゆりかご		前向きに歩く ゆつくり線上 横を向いて歩く ふみ出した方へ他 もつとつと一歩 つとつと 二つとつと 手足をのびして 一人で二つとつと つとつと 両足をそろえて 上前へすすみ つとつと		こが その場でとが	・這う ・前向きに歩く (直行) ・横向きに歩く ・足を交互に ふみ出す こが その場でとが	マツト
い				自分でこぐ 一人が乗り・他が かけ・押して走る		・三輪車にまたがる おしてもらうて ひじをさる (ひざをたけ目 分てこぐ) ・片方もかけ他 の足を上げ けて走る	三輪車
い				メリカノウエ ニロー ジャンゲル など 此が利用する		友だつと共にこ れ 遊具で 遊ぶ つみ木 を でまま などとする	メリカノウエ ニロー ジャンゲル など 此が利用する

	三	十二	九	七	四	月
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やわらかい両端を地面につけてゆらし、へがしたところをびこす</li> <li>・やわらかいゆきながわがる</li> </ul>					とびなわ
8						ニ輪車
7					<ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎる</li> <li>・手足を使ってぶら下る</li> </ul>	登り綱
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねごとおすみ</li> <li>・汽車おっこ</li> <li>・など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンカチを巻いた椅子とり</li> <li>・狩人とお鳥</li> <li>・みかんとり</li> <li>・など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこ</li> <li>・かごめ</li> <li>・輪とり</li> <li>・宿がえ</li> <li>・など</li> </ul>	ゲーム
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内子より破場へとびまわると走りまわると</li> <li>・足でジャンプをします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川とびをします</li> <li>・川中50cm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場所でのけんごびをします</li> <li>・けんごびで目標物まで走りまわります</li> <li>・内子より破場までとび下ります</li> <li>・スキップをします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前けり</li> <li>・なけり</li> <li>・スキップをします</li> <li>・川とびをします</li> <li>・川中50cm</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ場所でのけんごびをします</li> <li>・とび前へ進む</li> <li>・一足とび</li> </ul>	とぶ
11			<ul style="list-style-type: none"> <li>・リレーをします</li> <li>・輪くぐり</li> <li>・上から下へ</li> <li>・下から上へ</li> <li>・置かざるたて</li> <li>・など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走り</li> <li>・目標物をめがけてまっすぐ走る</li> <li>・円上を走る</li> <li>・輪とり</li> <li>・など</li> </ul>	走る	

	三	九	四	月	
v			<ul style="list-style-type: none"> <li>水中に入る</li> <li>水中で走る</li> <li>這う</li> <li>顔をあげた</li> <li>まま 足を</li> <li>バタバタさせる</li> </ul>	泳ぐ	
w		<ul style="list-style-type: none"> <li>アマリリス</li> <li>ガボット</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児体操</li> <li>ににに体操</li> </ul>	幼児体操
x					
y					
z					



目標  
月  
指導  
並に配慮  
器具  
運動  
ぶらんこ  
すべり台  
固定円木

・年長組になった自覚とともに自分の体の健康に  
関心をもたせる  
・運動機能の発達をはかる  
・規則正しい生活態度を養う

四  
・遊具とケルソ遊び 利用し  
遊びも発展させるようにする  
・遊具の使方のきまりを守り  
遊ぶと工夫し、遊具をい  
ようずに利用できるように  
にする  
・運動遊具の準備、後始末を  
手伝わせ、遊びに積極的に  
参加させる  
・遊具を大切に危険なもの  
扱わせる

・二人のりをする  
・二人のりをして  
交互にこぐ

・仰いでわて  
すべる  
(頭を上)  
・伏してわてすべ  
る  
(頭を上又下)

・自分で種々の活動にのり込む意欲をもたせ  
旺盛なる活動力を養う  
・カーはら活動することにより 体力を養う  
・カーはら活動する楽しさを味わせる

九  
・精緻な動作ができるようになる  
・運動遊具の準備、後始末を  
できるだけ、自分たちでさせる  
・勝敗に対する態度を養  
う  
・まことまごのこころ遊びに  
遊具を充分に活用する  
・手足の協応性を養う



・健康安全の観点から遊びを活動  
に発展させるようにする  
・遊具をじょうずに使用できるようにする  
・寒さには負けず、全身的な活動をも  
くし、体力を向上させる

一  
・戸外で、元気に種々の遊  
びをさせる  
・持久力を養う  
・諸活動のまとめるのみで  
今年までにした種々の遊  
びをする

月	四	七	九	三
太鼓橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんとうぐり</li> <li>・ぬけて逆ぎ</li> <li>・さんにおら下る</li> <li>・15秒ぐらひ</li> </ul>			
雲梯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんの上におぼる</li> <li>・さんの上を這つて渡る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おら下り片手ずつ前へ送りすむ</li> </ul>		
砂場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・穴や溝を這つてとびこる</li> </ul>			
低鉄棒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手と前から上げ両手向をぬりて棒に足をかけおら下る</li> <li>・棒を二つへきわしおら下る</li> <li>・しりよりして足を棒にかけおら下る</li> <li>・にぎつて立止るとび上る棒上に棒を支える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棒を二つに折り棒にぶら下る</li> <li>・前まわりをする</li> <li>・おら二つに折つて棒におら下り手を放す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を地面につき足を棒に片おら下りて又おらす</li> </ul>	
箱				
ボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ボールを投げたり同志で投げ合う</li> <li>・ボール送りをする</li> <li>・メアチンボール</li> <li>・ボール</li> <li>・球すりとする</li> <li>・ころかてくるボールを</li> <li>・けり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ボールをはずませ相手とやりとりする</li> <li>・ボール投げかたを走らせる</li> <li>・(大、小)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジボールをする</li> </ul>	

三	二	一	四	月
		竹のぼりも すろ	竹にすがり 足も使って登 る (少し登って体を 支える)	登り棒 (クライムジム)
				登り綱 (クライムジム)
		平均的なニキの 上に片足をつ りせて歩く (平均的な並 行によく)	前より交互に 足をふみ出して 子ころの進みで 歩く	平均台
		シヤンケンで落 しこくとすろ	一歩出した足に 後の足をフキ ながら進む 急ぎ足で渡る 横向きで足を どろどろと歩く シヤンケンで落 しこくとすろ	マット
		すもろとすろ	両手両足を 交互にさうぞ 前へ出してどお かえることび	三輪車
			三輪車走走と すろ またりてうそ 一より足をかけ 押して やと	メリゴーラウド 金葉セット シヤンケンジム スイーパー・サホ
				これら逆具を 上手に活動 的に利用する

よ  
見  
れ  
め  
め  
め

月	四	七	九	一	三
とびやわ	・その場でどぶ かけ足とびを する		・教師は入れしもの つて二人とびを する ・後にまわして とび	・友だち同士で 二人とびをする ・両端をゆった 波のやまをた りずむのつこ とび	・長なわを つまくゆす
二輪車	・自転車に またがる おしもらって 自分でかじま とる		・自分のニード 走る ・友だちとのせ て走る	・じまうすに 運送する	
登り綱	・ぶら下つて 揺る		・ヤシのケ上へ のぼる		
ゲーム	・かけふみ 押し合はせが 外むきに腕を 組んで円内 でする など	・陣とり 		・からがし鬼 	など
とび	・川とびで べとをする (川巾 70cm 位) ・ひしにわボール をはさんでとぶ りしーなど する ・けんけんすま をする	・川とび 曲った川とび びさつ上流 から下流に下 つていく 川巾 50cm 長さ 5m けんけんすま 川とびすま 川巾 40cm		・両足をそろ えて横にまわ す	
走る	・じいさんに走 る ・ホーリーなど をならべた直 まぬつて走る	・手で大玉を ころがして走 る ・四ヶケルプ で大玉をころ がし など			

三	五	七	月
		<p>           固定物につか            まり 顔と水            につける            顔を付けて            足をバタバタ            させ            手で遠く足            をバタバタさせ            て走る         </p>	泳ぐ
			幼児体操

2  
 2  
 2  
 2  
 2  
 2

# 絵画製作

年齢	4 才	5 才
目標	1 自由に描いて 絵に表現することに興味をもたせる。 2 材料に親しませ 作る喜びを味わわせる。	1 いろいろな材料を用いて自由にのびのびと絵をかき表現に対する興味と自信をもたせる。 2 ごっこ遊びに必要なものを自分たちでかいたり作ったりして生活経験と豊かにさせる。
	指導内容	指導内容
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 好きを絵でかく</li> <li>○ いろいろのものを作って遊ぶ</li> <li>○ 鉄の使い方をしる</li> <li>○ 木工遊びをする</li> <li>○ 身近にあるものの色をしる</li> <li>○ 三角、四角、丸などの形をしる</li> <li>○ 自分の使うものを準備したりあそびます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな材料を使って絵をか</li> <li>○ いろいろな形、質の上に絵をか</li> <li>○ 重宝をみて 感じたこと 絵にか</li> <li>○ 共通の生活経験を題材にしてみんなとついでに</li> <li>○ 適当な材料をえらんで いろいろに組合せて工夫して作る</li> <li>○ 自分たちで遊ぶものを作る</li> <li>○ 粘土を他の材料にあわせて作る</li> <li>○ いろいろな形、色を工夫して作る</li> <li>○ 刷道に使うのを作る</li> <li>○ 贈物を作る</li> <li>○ 接着材料の使い方をしる</li> <li>○ 共用の材料や用具は進んで手伝ってあそびかたづけをする</li> <li>○ 友だちにあげる物を作る喜びをしる</li> <li>○ みんなで装飾する</li> </ul>
	活動例	活動例
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレパス、マチックインキで画用紙の上にかく</li> <li>・フィンガーペンチングでかく</li> <li>・ポストカラー、墨、水、などで画用紙や新聞紙の上にかく</li> <li>・指や棒切を砂の上にかく</li> <li>・缶チョーク、白墨などで塗板の上にかく</li> <li>・砂遊びをする</li> <li>・木製シヤベル、砂型などを使って自由に遊ぶ</li> <li>・花などでまっごのごちそうを作る</li> <li>・粘土をいろいろ好きなものを作る</li> <li>・積木遊びをする</li> <li>・色紙、色画用紙、木片などを好きな形に切つて画用紙に貼る</li> <li>・釘と金槌で簡単な舟を作って水に浮かべて遊ぶ</li> <li>・ありあわせの木片を並べて釘で打つ好きなものを作る</li> <li>・花壇の花の美しい色、名前をしる</li> <li>・色水遊びに美しい色の水を作る</li> <li>・いろいろな形、色の紙を組合せて模様を作つて遊ぶ</li> <li>・かいたり作ったりするものの準備を進んで手伝う</li> <li>・砂遊び、などの道具を用意したりあそびかたづけをする</li> <li>・自分の使った絵の材料はできるだけ自分であそびかたづけをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレパスでかき、ポストカラーを合せて表現する</li> <li>・ポストカラー、ペイントス、毛糸、布などを糊(は)に合せてかく</li> <li>・粘土などをつかつてレリーフ式に板の上にかく</li> <li>・ダンボール紙、瓦、木、(木片)、などの上にかく</li> <li>・ガラスの上にセロハン、ポストカラーでかく</li> <li>・製作した立体作品の上にかく</li> <li>・三角、四角、丸、不規則な形の画用紙の上にかく</li> <li>・聞いた話の内容の好きな場面をかき紙芝居などにして遊ぶ</li> <li>・動物園の印象を大きくみんなでかく</li> <li>・動物園ごっこの動物を紙空箱、木箱、円筒、筒、木片、わら、綿、うちわ、毛糸、はたん、色セロハン、などでいろいろ組合せて作る</li> <li>・花屋さんごっこ、動物園ごっこなどのように自分たちの作ったものをもちだらにあげたり見せあつたりする</li> <li>・木、ボール、紙、はりかたなどをつかつて大きく自由に作る</li> <li>・色の配合、形の構成などをよく考えあつて遊ぶ</li> <li>・自分がなす役の面や持つ物をつくる</li> <li>・背景をみんなで作る</li> <li>・ペーパーサートの絵をか</li> <li>・年少組のおみやげを作り贈物を作る喜びをしる</li> <li>・お母さんへの贈物をいろいろ工夫して作る</li> <li>・セロテープ、セメダイン、などを無駄にしないように使う</li> <li>・材料を運んだり絵具をこぼしたりするのを手伝う</li> <li>・材料別にそれぞれまごのあそびかたづけをする</li> <li>・氷遊びの舟、お魚などを作つて遊ぶ</li> <li>・保育室や遊戯室をテープ、色紙、セロハンなどで飾り新しい反響を迎える</li> </ul>

年令

4 才

5 才

目標  
期

1. 感じたこと、経験したことを自由な形の紙で表現させる。
2. 種々な材料に関心をもち、自由に之らんで作る喜びをもたせる。
3. 自分や友だちの作品をみる 態度を養う。

1. 適当な材料を自由に使って表現欲を満足させる。
2. みんなと協力して作ったり、完成する喜びを味わわせる。
3. 自分や友だちの作品を比較して注意しめる 態度を養う。

指導内容

活動例

指導内容

活動例

- 好きな材料をこねて絵をかく。
- いろいろなものの上に絵をかく。
- 紙を切ったりちぎったりして画用紙や空箱に貼る。
- 作品に色を塗る。
- 生活経験と題材にして絵をかく。
- ごっこ遊びに必要な簡単なものを作る。
- 自然物の色遣いをしたり好きなものを作ったりする。
- 粘土と他の材料をあわせて作り。
- 自分や友だちの作品をみる。
- いろいろな大きさ、形、の紙を挿しを組合せ立体構成にする。
- 作品を大切にみる。
- 必要な材料や用具を注意しかりかたりたりする。

- マジックインキ、ホスタカラー、アクリル、墨などを自由に之らね、あわせて使う。
- 立体的な箱、かん、ダンボール紙をその上にかく。
- 四角、三角、丸、不規則な形の画用紙や画用紙の上にかく。
- 自由な形を組合せて貼る。
- 粘土や粘土、などで作ったものに色をぬり完成させる。
- 運動会、遠足などみんなと共に経験した中を一番楽しかったこと、うれしかったことを思い出しかく。
- 平面的なものから簡単な立体的なものを作りそのよろこばしさを知らせごっこ遊びさせる。
- 八角星ごっこの大根、人参、果物など、色セロハン、色画用紙の上にかいたいろいろな葉や実を列べて模様を作り、他の色紙材料を使って豊かに表現する。
- 粘土と紙、竹、木、はりか紙、モールなどをつかって自由に洋装に表現する。
- 絵画製作展で自分や友だちの絵の作品をみて、みる。
- 接着剤のセメアインやセロテープの糊の力をいっせに挿しを自由に組合せてつなぎあわせる。
- 作品をいじったり、ぶんだりする。
- 指導者の指示にしたがったりする。

- かく方法いろいろ工夫してかく。
- 大きな材料で意欲的なものをみんながかりたり作ったりする。
- 彫ったり、切ったりして立体構成にする。
- 作るものをよく見てから適当な材料をこらる。
- 材料を工夫して作る。
- 共同作業で完成を喜び。
- グループに分れてかりたり作ったりする。
- 用具は正しく使う。
- 材料をむだにしない。
- 材料や用具はきられたことかきかたを注意する。
- 自然物の色、形を利用して工夫して作る。
- 作品を注意してみる。
- 作品を飾る。

- ホスタカラーなどで半面の絵を他面につけて何回も重ねてかく。
- 絵の濃淡をつけたかく。
- うす紙をいれよけて、その山に色をつけたことこを自由にかく。
- 金紙や色紙の紙をあて紙のものをかんなどかく、奈良の大仏、土まじりなど、共同製作して大きな箱で子どもがく入る位のものを作り、作品を遊ばし活用する。
- 粘土だけかんなで大きなものをつくる。
- 砂、粘土、瓦、石膏塊などをちぎったり切ったりしてレリーフ式に又は立体的に構成する。
- 彫ったものに着色し版画遊ばしをする。
- 自分かたいものみんなでするものとよくせし合う。
- ぐまにくい時には、接着剤や方法によくきかたりする。
- みんなの作ったものを集めて、パノラマ形式にして年少組などを招待してかたりする。
- ボール、割り、切出し、けいなどの傑作をいっせに展示する。
- 自分かき進んできかたりたことかきよくきかたりあてしする。
- 葉、実などを着色し、挿して団扇をいっせにする。
- ごっこ遊びの材料にして遊ぶ。
- 他の材料とあわせて貼ったりかたりする。
- 絵画製作展で友だちの作品のよきところを説明をきかたりする。
- 飾る時も見る時も作品を大切にみる。
- 飾り方をみんなてきかたりする。

2

学年	4 才		5 才	
目標	1. 自己表現に自信をもたせ表現内容を豊富にさせる。 2. 興味をもって終りまでやり通す態度と身につけさせる。		1. 材料や方法と工夫し、創意をいかして表現内容を豊富に活潑に表現させる。	
3	<b>指導内容</b> ・材料や方法をかえて好きなものをかいたり作ったりする。 ・一つの課題のもとに立体物を土台にしていろいろの材料を組合せて作る。 ・さした面紙を絵にかく。 ・創造物に使うものをかいたり作ったりする。 ・記念品を作る。 ・ごっこ遊んだ使うものをみんなでかつはに作る。 ・作ったもので遊ぶ喜びを知る。	<b>活動例</b> ・台紙や線をかきそれを基にして創造的な模様をかき進める。 ・色セロハンと他の紙を組合せて貼りその美しさを知る。 ・立体物を胴にして「空ぶし」の課題にあたり色紙、色台紙、セロハン、モールなどのりでつけて作る。 作品を互いにぬもつつけかきものでつて持つ。 ・マジックインキ、クレパスなどで印象的だった場面をのり、かいた内容をばらす。 ・自分のする役に使うものを作る。 ・卒業を準備する。 ・年長組に贈る作品をつくる。 粘土でグローブ、自由製作など。 ・したたものたけや寄り集めて作る。	<b>指導内容</b> ・創造物、人形芝居、影絵に使うものを作る。 ・子ども会に使う遊具を作る。 ・音楽をききながら感じたことを直ぐ絵に表現する。 ・素材のイメージを利用して豊富に作る。 ・記念品を作る。 ・協力して保育室やまごごの家を美しくする。 ・楽しかった幼稚園の思い出をみんなでかいたり作ったりする。 ・自分のかいたもの、作ったもの、遊具などを整理するのを手伝う。	<b>活動例</b> ・ボール紙、色セロハンなどで作る劇の人物を作る。色セロハンと電光線を通しての美しさを知る。 ・紙、粘土、毛糸、布などで人形を作る。 ・舞台の装飾プログラムなどを作る。 ・音楽レコードをきいて感じたまきを絵でかいたり内容を想像して絵をかく。 ・人形のボデーをいろいろの材料を使って作り、布、紙などできれいな人形に仕上げ、かざって遊ぶ。 ・卒業記念として各自作品を作る。粘土で自由製作。 ・幼稚園へ残す作品としてテーブルかけ、カーテン、ピアノカバーなど。 ・まごごの家をかきかえて装飾する。 ・思い出を話し合い、グループに分けて大きな紙にかく。 ・幼稚園の庭、小鳥、免小屋、遊具などをみんなで作る。



言語指導系例表

学年 目標 学期	4 才				5 才			
	話す		聞く		話す		聞く	
	指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例
1. 簡単な日常の挨拶ができ、教師や友だちに話しかけることができるようにする。 2. 教師の話に注意して聞き、童話や絵本、紙芝居を喜んで見たり聞いたりできるようにする。	教師の名、学級の名などを言う。	・入園式に参加する。学級や自分の持物の置場所とする。	話をする人の方へむいて聞く。	・教師の話に聞く。	他の組の教師や友だちにも、登園時や降園時の挨拶をする。	・登降園のときに	教師や友だちの話に注意して聞く。	・友だちの経験発表を聞く。
	名前をよばれたり仕事を言いつけられた時などに、返事をする。	・園のたよりや印を押したり、伝達の手紙を渡したりする。	生活のきまりなどの話をきく。	・誕生会・子供会などに参加する。	今日は、ごめんない、ありがとうなどの日常の簡単な挨拶用語を使う。	・ごっこ遊びや音楽会に他の組の教師や友だちと招待する。	話をする人の方へむいて聞く。	・教師の童話やラジオ、テレビなどの話を見たり聞いたりする。
	担任の教師や同級の友だちに簡単な挨拶をする。	・朝の挨拶や降園時の挨拶を、友だちと挨拶しよにする。	童話をよろこんで聞く。	・ラジオ・テレビと友だちと挨拶しよに見たり聞いたりする。	人の問いかげや、話に回答する。	・ゲーム遊びや遊具を使って遊ぶ。	園内放送に注意して聞く。	動物園鑑植物園鑑などをみる。
友だちの前で自分の名前を言う。	・友だちと挨拶しよにおやつを食べ「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする。	絵本・紙芝居・幻燈などをよろこんで見ろ。	・自由に絵本をみる。	なるべく正しいことばを使う。	・見学に行く。	事物の名前、童話などを正しいことばでつかいよたたくさん聞く。	動物園鑑植物園鑑などをみる。	
友だちの名前をおぼえる。	・庭に出て遊ぶ。「かごのあわがくたつた」「毎日の大偉さん」などのゲーム遊びをする。	園内放送に注意して聞く。	・友だちと挨拶しよに絵本、紙芝居、幻燈などをみる。	経験したことを友だちの前で話す。	・おやつや休みの時にグループの友だちと話し合ふ。		動物園鑑植物園鑑などをみる。	
「したいこと、してほしいこと」などを教師や友だちにつげろ。	・アランコ、すべり台などの遊具で遊ぶ。	劇、人形劇などをよろこんで見ろ。	・遊遊訓練に参加する。	活発にごっこ遊びの会話をする。	・テープレコーダーに録音したことを吹き込んで友だちに聞いて貰う。			
リズム劇などのセリフを友だちと挨拶しよに言う。	・ままごと、のりものごっこなどのごっこ遊びをする。			人の話が終つてから話す。	・誕生会や子供会などに参加する。			
	・復讐にいく時など教師につげていく。			ごっこ遊びの話し合ひに参加する。	・花やさん、果物ごっこ、ままごと、動物園ごっこなどのごっこ遊びをする。			
	・友だちと挨拶しよに遊具の後片付けをする。			いろいろの事物の名前をおぼえて使う。	・ごっこ遊びについて相談をする。			
	・「三匹の子豚」「兎の耳」「かしの道長」などのリズム劇をする。			たのしんで劇あそびをする。	・動物園にいたり動物園鑑植物園鑑などを先たりして話し合ふ。			
	・誕生会・子供会などに参加する。			劇のセリフを一人で言う。	・「みっけちゃん」「みっけちゃん」などの劇あそびをする。			

年令	4	オ	5	オ
目標	1. 見たこと、聞いたことなど、身近に経験したことを、教師や友だちに話したり、質問したりできるようにする。 2. 絵本、紙芝居、幻燈、テレビなどを喜んで見たり、簡単な劇のそびをしたりできるようにする。		1. 人の話をよく聞き、伝言や相談などができるようにする。 2. 童話、ラジオ、テレビ、紙芝居、絵本などを理解して見たり聞いたりして、感じたことを、話し合うことができるようにする。 3. 数量、事物の名前など日常生活用語を使うことに馴れさせる。	
学期				

話す		聞く		話す		聞く	
指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例
わからないことは何でも聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本などを見て話し合う。</li> <li>登園した時、休息の時などに自分の経験を話す。</li> <li>絵に描いたことについて話す。</li> </ul>	教師や友だちの話を静かに聞く。  友だちとひとつよにラジオ、テレビを静かに見たり聞いたりする。  絵本、紙芝居、テレビ人形劇などを喜んで見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の童話を友だちとひとつよに聞く。</li> <li>テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。</li> <li>遊んでいる時休息の時などに友だちの話を聞く。</li> <li>ラジオ「幼児の時間」を友だちとひとつよに聞く。</li> <li>絵本、紙芝居、テレビ人形劇などを見る。</li> <li>誕生会など参加する。</li> </ul>	親や教師の伝言をつたえぬ。  絵本、紙芝居、ラジオ、テレビなどを友だちとひとつよに見たり聞いたりする。  お話の発表会をする。  童話を作って友だちに話す。  自分の話をテープレコーダーに吹き込む。  運動会、食卓ごっこ、乗物ごっこ、大売出しごっこ、共同製作などをすすめる。  「月の井戸」「つねのいたずら」「長靴をはいた猫」「秋の虫」などの劇や人形劇をする。  いろいろの図鑑を友だちと話し合う。  なぞなぞ、しりとり、似たものあつめ、反対さがし、などのことば遊びをする。  木の葉や落葉、石ころ、貝殻などを集めたり、介抱したりして遊ぶ。  グループで自由に話し合う。	駅員、店員など、身近に働く人々の話を聞く。  いろいろの図鑑や絵本を見て、事物の名前や事柄のあやし方をよびえる。  ラジオ、テレビ、幻燈映画などを注意して見たり、聞いたりする。  教師や友だちの話を興味をもつて聞く。  園内放送の注意や説明をよく聞き、指示に従って行動する。  運動会、乗物ごっこ、食卓ごっこ、など他の組と合同の單元活動に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お午伝いをする。</li> <li>絵本、紙芝居、ラジオ、テレビなどを友だちとひとつよに見たり聞いたりする。</li> <li>お話の発表会をする。</li> <li>童話を作って友だちに話す。</li> <li>自分の話をテープレコーダーに吹き込む。</li> <li>運動会、食卓ごっこ、乗物ごっこ、大売出しごっこ、共同製作などをすすめる。</li> <li>「月の井戸」「つねのいたずら」「長靴をはいた猫」「秋の虫」などの劇や人形劇をする。</li> <li>いろいろの図鑑を友だちと話し合う。</li> <li>なぞなぞ、しりとり、似たものあつめ、反対さがし、などのことば遊びをする。</li> <li>木の葉や落葉、石ころ、貝殻などを集めたり、介抱したりして遊ぶ。</li> <li>グループで自由に話し合う。</li> </ul>	
昨日あつたこと、遊んだことなどを教師や友だちの前で話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験したことなどを話してテープレコーダーに吹き込む。</li> </ul>	友だちとひとつよに話したり聞いたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	グループでごっこ遊びの相談をする。	いろいろの図鑑や絵本を見て、事物の名前や事柄のあやし方をよびえる。	誕生会など参加する。	誕生会など参加する。
おやつあつたことなどを友だちと話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験したことなどを話してテープレコーダーに吹き込む。</li> </ul>	友だちとひとつよに話したり聞いたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	大きき声ではっきりと人にわかるように話す。	園内放送の注意や説明をよく聞き、指示に従って行動する。	誕生会など参加する。	誕生会など参加する。
簡単な劇のセリフを友だちとひとつよに言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちとひとつよにおやつをたべる。</li> <li>ままごと、八百やごっこなどのごっこ遊びをする。</li> </ul>	友だちとひとつよに話したり聞いたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	身近に経験したことの内容をよくわしく友だちの前で話す。	運動会、乗物ごっこ、食卓ごっこ、など他の組と合同の單元活動に参加する。	誕生会など参加する。	誕生会など参加する。
簡単な劇のセリフを一人と言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「七匹の仔山羊」「お山の秋」「大根おろし」「どんぐり」などの劇のそびをする。</li> </ul>	友だちとひとつよに話したり聞いたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	わからないことは何でも聞く。	運動会、乗物ごっこ、食卓ごっこ、など他の組と合同の單元活動に参加する。	誕生会など参加する。	誕生会など参加する。
ごっこ遊びの会話をすすめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「七匹の仔山羊」「お山の秋」「大根おろし」「どんぐり」などの劇のそびをする。</li> </ul>	友だちとひとつよに話したり聞いたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	事物の名前や数量など日常生活用語をよく使う。	運動会、乗物ごっこ、食卓ごっこ、など他の組と合同の單元活動に参加する。	誕生会など参加する。	誕生会など参加する。

2

年齢	4 才	5 才
目標	1. 簡単な日常用語を使い、教師や友だちに喜んで話しかけることができるようにする。 2. 童話、ラジオ、テレビ、人形劇などをみんまごっしよに静かに見たり、聞いたりして、感じたことを話すことができるようにする。	1. 童話などを人に聞いた話を友だちの前で話すことができ、劇あそび、人形劇などをたのしんでできるようにする。 2. 人の話を注意して聞き、内容を理解するこどもに自分の考えたことを人に話すことができるようにする。
学期		

話す		聞く		話す		聞く	
指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例	指導内容	活動例
身近に経験したことや聞いた話を教師や友だちの前で話す	絵に描いたことについて教師や友だちの前で話す。	教師や友だちの話をみんまごっしよに静かに聞く。	お話し会、誕生会、お別れ会などに参加する。	短いまとりのあるこどもご話を製作して話す。	「ハルマの笛吹き爺さん」「森の音楽隊」「三ッの腹」「ハンゼルとグレーテル」「眠れる森の姫」などの劇、人形劇、かげえをする。	絵本、紙芝居、ラジオ、テレビなどを興味をもつて見たり聞いたりする。	絵本、紙芝居、ラジオ、テレビなどをみたり聞いたりする。
大きな声でほつり話す	お話し会をする。	ラジオ、テレビ、童話、人形劇などをテープレコーダーに吹き込み友だちに見せたりする。	テープレコーダーに吹き込んだ友だちの話を聞く。	数量、事物の名称や簡単な日常用語を自由に使って話す。	童話、ラジオ、テレビなどをみたり、聞いたりしたことに「いつ感じたこと」を友だちと話し合う。	お話し会、お別れ会、卒業式などに参加する。	お話し会、お別れ会、卒業式などに参加する。
簡単なまとりのあるこどもご話を話す	自分の経験したことなどをテープレコーダーに吹き込み友だちに見せたりする。	童話、ラジオ、テレビ、人形劇、紙芝居、絵本などを興味をもつて聞く。	童話、ラジオ、テレビ、人形劇、紙芝居、絵本などを見たり聞いたりする。	童話、ラジオ、テレビなどをみたり、聞いたりしたことに「いつ感じたこと」を友だちと話し合う。	友だちの劇、人形劇、かげえをたのしんで見たりする。	友だちの劇、人形劇、かげえをたのしんで見たりする。	友だちの劇、人形劇、かげえをたのしんで見たりする。
相手の顔を見ながら話す	カルタ、双六、絵合わせ、子供の王様、けんごろう、などのゲーム遊ばす。	友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	童話や劇のセリフを自分で考えて話す。	カルタ、双六、絵合わせ、けんごろう、などのゲーム遊ばす。	友だちの劇、人形劇、かげえをたのしんで見たりする。	友だちの劇、人形劇、かげえをたのしんで見たりする。
ごっこ遊びに必要なお話を自由に話す	かしら、宇あつめ、電信などのこどもご遊ばす。	友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	童話や劇のセリフを自分で考えて話す。	物話りの団鑑などを興味をもつて見たり聞いたりする。	物話りの団鑑などを興味をもつて見たり聞いたりする。	物話りの団鑑などを興味をもつて見たり聞いたりする。
劇あそび、人形劇などのセリフを一人て言う	お家ごっこ、おまわりままご、などのごっこ遊ばす。	友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	劇や人形劇のセリフを感じを出して話す。	電話あそび、年ごなど、即興劇などのこどもご遊ばす。	電話あそび、年ごなど、即興劇などのこどもご遊ばす。	電話あそび、年ごなど、即興劇などのこどもご遊ばす。
短い挨拶のこどもごおぼえて友だちとほつしよに言う	赤い花には赤いようしよ、「おせうじ」「バスは満員」などの劇あそびや人形劇をする。	友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	友だちとほつしよに劇の役割を相談する。	お話し会、誕生会、お別れ会、卒業式などに参加する。	お話し会、誕生会、お別れ会、卒業式などに参加する。	お話し会、誕生会、お別れ会、卒業式などに参加する。
	誕生会、お別れ会などに参加する。	友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	自分の住所、家族の構成などを言う。	友だちとほつしよに「フグき話」を作る。	友だちとほつしよに「フグき話」を作る。	友だちとほつしよに「フグき話」を作る。
		友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。	問われたことには、ほつりて応答する。	おうちごっこ郵便ごっこなどのごっこ遊ばす。	おうちごっこ郵便ごっこなどのごっこ遊ばす。	おうちごっこ郵便ごっこなどのごっこ遊ばす。
		友だちの劇や人形劇に興味をもつて見る。	友だちの劇や人形劇を見る。		ごっこ遊びの招待のこどもご遊ばす。	ごっこ遊びの招待のこどもご遊ばす。	ごっこ遊びの招待のこどもご遊ばす。

4 才

1. 喜んで、元気に歌ったり、おどったりできるようにする。  
 2. 簡単なリズム楽器に親しみ、その音を使い分けるようにする。  
 3. 教師の歌やレコードを友達と一緒に楽しく聞けるようにする。

日 期	歌		聞		奏		動	
	指導内容	資 料	指導内容	資 料	指導内容	資 料	指導内容	資 料
1	知っている歌を元気に歌う。	おててないで、夕やけニヤケ	遊んだり、歌ったりしながらラジオの歌を聞く。	NHK「歌のおばさん」の歌	歌に合わせて手を叩く。	フェーリップ、おててないで	歌いながら簡単な動作をする。	喜んでおどって、おててないで
	簡単な動作をしながら歌う。	おまんこひらいて、大きなこ指の歌、手をたたきまじ	教師や友だちの歌を聞く。		ハンドカマタ、タンブリン、ラッパ、大太鼓など、リズム楽器の名前、持ち方打ち方を教える。		ピアノに合わせて、歌ったり止まったりする。	歩く(リズム集2)
	ゲームをしながら歌う。	おごめ、宿がえ、あわすくたは	知っている歌のレコードを聞く。	おててないで、夕やけニヤケ、玩具のおもちゃ、めだかの学校	音当てごっこをする。	ハンドカマタ、タンブリン、大太鼓、ラッパ、オルガンの音当てごっこ	動物や乗物の動作をまねてみる。	ぞう、あひる、汽車、電車、ひこうき
	簡単な新しい歌を歌う。	きょうから友達、楽しい幼稚園、おんぼの歌、フェーリップ	提音を多く使った描写音楽を聞く。	三匹の子豚、時計屋の巻、因幡急行列車、小鳥屋の巻	歌や曲に合わせて自由に曲を打つ。	おててないで、楽しい幼稚園、きょうから友達、フェーリップ、両たれぼたん、鯉のぼり	速い曲、おそい曲に合わせて歩く。	マーチ(リズム集2)
	学級やグループの友だちと一緒に歌を歌う。	こいのぼり、花やさん、ほろほろ、文んぞく、きんぎょ、おたまじゃくし、両たれぼたん、両たれでんご虫、てんとう虫、ほたる、しゃぼん玉、グットバイ	描写音楽を聞いて自由に話し合う。		リズム打ちをする。		強い曲、弱い曲に合わせて歩く。	
	レコード、ラジオの歌を聞きながら歌う。	NHK「歌のおばさん」、「幼児の時」、おててないで、夕やけニヤケ、玩具のマーチ、めだかの学校	簡単な動作をしながら聞く。	星の踊り、口笛吹きと小犬	楽器でいろいろなものの音をまねてみる。	時計、玩具、両たれ	曲に合わせて、とんだり走ったりする。	うさぎ、風車、セトウ、しゃぼん玉、水鉄砲、金魚、汽車、鯉のぼり、いちご、花、はち、ピアノ、両たれ、時計、おたまじゃくし
		簡単な動作をしながら聞く。				曲に合わせて自由に歌う。	簡単なフックダンスやけうきをする。	おはけダンス、おどろき、フェーリップ、今日のお返り
							年長組と一緒にフックダンスをする。	たし、カボット、幼児体操
							歌を歌いながら友だちと遊ぶ。	かごめ、同じ、同じ、あわすくたは、宿がえ、いさよ、くっせさん

今  
月  
特  
集

4 才

1. 友だちと一緒に歌ったり 簡易なリズムの合奏をしたり 出来るようにする。
2. 簡単な曲に反応して、リズム的に動くように、身近な動物や乗り物などの動きを模倣的に表現出来るようにする。

歌	う	楽	く	ひ	く	動	く
指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料
友だちの前で1人又はグループで歌を歌う。	とくはのりか秋の虫、あめつばき、海ほたるのほつや、ふんを切りまは、お月様 運動会、りんごのみかん、まはつくり、とんぐり、おもしろい夜、おもしろいマナ、山羊さん、けうばん、毛屋さん、羊さん、おもしろい、夜、サザンクロス、お正月、サザンクロス、ゆき。	着音機やラビオの歌を真似て聞く。	NHK「うたのおはなし」の歌、とくは(合奏)、NHK「幼児の時間」の歌、山の音楽家、夜、おもしろい夜、10人のインディアン、歌の町、すいすい、すいすい、すいすい。	鈴 トライアングル の打ち方を教える。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	曲の強弱に反応して歩、音の高低に反応して歩く、速度の変化に反応して動く。	とくは(8月中旬の歌)、兎、亀、星、波、水、珠、目、山、舟、鳥。
お月様と合わせて歌う。	りんごのみかん、まはつくり、とんぐり、おもしろい夜、おもしろいマナ、山羊さん、けうばん、毛屋さん、羊さん、おもしろい、夜、サザンクロス、お正月、サザンクロス、ゆき。	教師や友だちの歌に興味を持って聞く。	山の音楽家、夜、おもしろい夜、10人のインディアン、歌の町、すいすい、すいすい、すいすい。	フエ、鈴、トライアングル、ハカチ、おもしろい楽器を自由に工夫して打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	音の長短に反応して歩	おもしろいマナ、まはつくり、星。
とくはの前で楽器の音で歌う。	とくはのりか秋の虫、あめつばき、海ほたるのほつや、ふんを切りまは、お月様 運動会、りんごのみかん、まはつくり、とんぐり、おもしろい夜、おもしろいマナ、山羊さん、けうばん、毛屋さん、羊さん、おもしろい、夜、サザンクロス、お正月、サザンクロス、ゆき。	教師の歌に合わせてリズムを打つ。	山の音楽家、夜、おもしろい夜、10人のインディアン、歌の町、すいすい、すいすい、すいすい。	音の長短に合わせて打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	音の変化に気をつけて転ずる	おもしろいマナ、まはつくり、星。
乗り物の音や短い言葉をリズムに合わせて歌う。	とくはのりか秋の虫、あめつばき、海ほたるのほつや、ふんを切りまは、お月様 運動会、りんごのみかん、まはつくり、とんぐり、おもしろい夜、おもしろいマナ、山羊さん、けうばん、毛屋さん、羊さん、おもしろい、夜、サザンクロス、お正月、サザンクロス、ゆき。	簡単な音楽を聞いて思いついた事を自由に話し合う。	山の音楽家、夜、おもしろい夜、10人のインディアン、歌の町、すいすい、すいすい、すいすい。	正しくリズムを打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	曲の強弱高低に合わせて自由に表現して打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。
				2拍子曲に合わせていろいろな打ち方を打つ。強拍部を打つ、弱拍部を打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	虫の動きをまねて打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。
				2拍子以上の楽器を同時に打つ音を奏し、楽器を使いながら打つ。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	歌に合わせて自由に表現する	おもしろいマナ、まはつくり、星。
				楽器を大切に扱う。	おもしろいマナ、まはつくり、星。	簡単な遊戯をする	おもしろいマナ、まはつくり、星。
					おもしろいマナ、まはつくり、星。		おもしろいマナ、まはつくり、星。

2

歌		聞		聞		勤	
指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料
1. 音の高低、強弱、曲の速さなどの違いに気づかせる。 2. よい姿勢で歌を歌ったり合奏したり出来るようにする。							
いろいろな音が合せて歌う。	おくらおくら 庭に出て遊ぼう	いろいろな音を出して 合奏して楽しむ	トイシニア (合奏)	3拍子の曲に合わせて 楽器を打つ。 強拍部を打つ。 弱拍部を打つ。	花鳩とアノ あまは光る おひな祭り	3拍子、3拍子の強弱に 反応して歩く。	マーチ 3拍子の組み合わせ
みんなの前で「くて」 元気な歌う。	たけのこお正月 歌の町 立寄り。 雪だるま。	曲の速さや強弱を 感じさせる。	舞踏への勧誘 トイシニア 森の水平	役割を分担し 交替してリズムを合奏 する。	音の長短に反応して歩く りよりの走り出す	音の長短に反応して歩く りよりの走り出す	リズムの組み合わせ リズムの組み合わせ
歌のことは理解して 歌う。	10人のこぼれ お祭り アホの 春はいつ来る春、 春よ来い。修了の歌 花鳩とアノ	教師や友だちの歌を 気をつけて聞かせる。	どこかで春が 庭に出て遊ぼう		人数の反応に協力して いろいろな楽器を表現する		三輪車 自転車 振付車 流し車 飛行機 ヘリコプター
友だちの声を聞き 前に歌う。		いろいろな音楽を たくさん聞かせる。	ユースレス アコースティック ダンス スティーヴルツ うさぎ くるみ割く形行進曲	簡単な指揮をする	歌の町 お正月 大きな鼓 アメリリス トイシニア	友だちと仲よく歌う	おひな祭り 打ちの音 アホの
姿勢を正しくして 歌う。		曲を聞いて友だちと 一緒に自由な動き をする。		教師や友だちの指揮 に合わせて合奏する		ピアノやトイシニアを 使わせる	馬 かんざし 兜
短い節を即興的に 作って歌う。	(教師との歌の 合奏)			好きな曲の合奏を 楽しむ。	いろいろな楽器を 表現する	友だちと一緒に考え て一つの横断線表現 する。	おひな祭り、おひな祭り おひな祭り、おひな祭り おひな祭り、おひな祭り
既習の歌を楽しく 歌う。						他のグループの表現を 鑑賞する	
						新しいアコースティック を覚える。	アコースティック 仲間を覚える かんざし、かんざし
						簡単なリズムをする	リズムの橋 リズムの橋 リズムの橋

3



日  
学  
期

- 1 二拍子、三拍子、四拍子などの基礎的なリズム感を身につけ、正しく反たできるようにする。
- 2 曲を聞、楽し、活潑さ、静か、優美さなどの感じをわかったりする。

歌		聞		奏		動	
指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料	指導内容	資料
歌の意味を理解して歌う。	ひまわり、こゝろざき 木の葉、夕日 どんぐり、歌の町 山の音楽家、たき火 サンタローズ、シングルベル お星が光る、お星さま 雪夜のトロイ、お正月 北の国から 靴やのおいさん	教師や友だちの歌 と注意に向く。 曲を聞いて感じを 自由に絵に表現する。 指導音楽を用いて、 自分の思った情景 などを発表し合う。	モックン・グレート わらの中へと直 なまりの泉蔵 ペーターと根 口笛吹きと犬	擬音楽器の奏し方を 知り、その音感を楽 しむ。 擬音楽器を使い、 合奏をする。 行進に合わせて合奏 をする。 指揮に従って強く 打ったり、弱く打た りする。	秋の虫、こゝろざき おはろわろつ 威風堂々 運動会の歌	曲に合わせて、歩いたり、ど たりする。 曲の高低、強弱、速及遅の 変化に合わせて自由に 印象表現する。 楽器を打つ拍がわからず する。 親、うらわなどを打つ拍が わかる。 同じに打ったり、線に打た りしておどる。 グループで、答の合に表現 する。	ホップ・ステップ・キック 前作り、後作り (リズム2)(行進曲群) せせり、山登り、橋おたり 花火、風船、波 (リズム2) おこら島たのしみ(ハンカチ) ダンスダンス(ダンス) ふれあれふれあ 動物のカーニバル 秋の山、おはろわろつ、 どんぐり、 落し葉 いっしょの虫、虫とり エース、マフ、グハゴト フレンド、フレンド、フレンド お母さんヒーヒー 奈良の大仏さん 汽車のこ
二拍子、三拍子、四拍子などの歌を歌って、そのちがいに気づく。	十人のマフ、おとこり お星が光る、花畑とマ シングルベル、北の国から	曲を聞いて、楽し、 活潑さ、静かさを感 じよう。	ワーターローの歌 ペリシテ市場 トルシテララシ、おれ ローマの踊り子	四拍子、三拍子、四拍子などの曲に合わせてリズム的に楽器を打つ。	おこら島たのしみ(ハンカチ) ダンスダンス(ダンス)		
元気な歌、静かな歌などの感じを出して歌う。	ヤリカニ、おれさま 運動会、大どろろ	曲に合わせて、友だちと組んで自由に おどる。	人形の夢と目ざめ	二拍子、三拍子、四拍子などの曲に合わせてリズム的に楽器を打つ。	おこら島たのしみ(ハンカチ) ダンスダンス(ダンス)		
簡単な輪唱を楽しむ。	蛙の歌、電車			グループで相談して合奏を作る。	シングルベル うれしいこの秋 大どろろ		
教師や友だちと対面式に歌を歌う。	V.A.とみりん おれさまのふはたし きくのはら						
音当てゲームをする。	私の大耳は鬼の村 (お三和音)						

2



日  
学  
期

- 音程やリズム、拍子などに気をつけて、歌ったり、合奏したりできるようにする。
- グループで協力して、リズム表現ができるようにする。
- 曲の感じを、歌、合奏、動きに表現できるようにする。

歌	楽		動		
	指 導 内 容	資 料	指 導 内 容	資 料	
いろいろなゲームや フォークダンスにあ わせて、調子よく歌を 歌う。	クォーターワルツ おひらのお宿 おはようスキップ 手洗の玉様 巨象のせて	友だちの歌や合奏など を用いて、感じなどを を表現する。	修の歌、卒業の歌 四月の歌 上りの春 など スキー、月になる花 クニコスホト、 ハイハイのセシテ	木琴、鉄琴、ピアノ オルガン、ハーモニカ など、メロイの さぐりひきをあそぶ。 曲のリズムや拍子に、 正しく反応して、楽器を 打つ。 曲の感じを、とらえて、 合奏する。 足踏みや合奏は鑑賞 する。 既習の歌を合奏して 楽しむ。	二拍子、三拍子、四拍子など のリズムに反応して、自由に 表現する。 クルツキ バランスをとらぬ。 音楽を聞いて、感じた通りに 表現する。 グループで協力して、創作表現 する。 他のグループの表現を鑑 賞して話し合う。 既習のフォークダンスを楽しく
歌の意味を把握して 動きに表現しながら 歌を歌う。	お山の杉の子 おひらのお宿 毛糸やさんのお宿	静かなう、優美な曲 元気な曲、など おひらの歌づく。	G線エコー トイボイ クニコスホト 三ツツリマーチ	息の電報 音はいつく 卒業の歌	お山の杉の子、 おひらのお宿、 毛糸やさんのお宿
劇や芝居などの歌を 教師と共に創作する。	ちくろサニボ お宿のこころ	曲の感じをとらえて グループで自由に 表現する。		スキー、月になる花 クニコスホト、 ハイハイのセシテ	他のグループの表現を鑑 賞して話し合う。
音程やリズムなどに気 をつけて歌う。	鬼のこまはう、空 こたけきこ 花の種子、風さん とこで春が 春はいつく、お宿り こまのお宿り				
発声発音に気をつ けて歌う。					
歌の感じを、とらえて、 気持ちをこめて歌う。	修の歌 卒業の歌 四月の歌				
既習の歌を楽しく 歌う。					エースオブダイヤモンド テンリトルゲイツ、ボーンズ

望ましい経験表〔健康〕

望ましい経験	観点	第1年(4才)		第2年(5才)	
		年	期間	年	期間
(1) 健康生活のためのよい習慣をつける。	清潔に關する態度(量)。				
1. 皮膚・髪のも・つめなどをきれいにする。		入浴・洗髪をいやはがらな い。髪をきれいに洗う。 耳あかをきれいに洗う。	4~3 4~3 4~3	6~7 4~3 ⑤	Q. 左に同じ A. 爪が伸びたら切つてもらう。 C. 左に同じ
2. 仕事や遊戯のあと、よく洗った手や足を顔にさわらせる。		仕事や遊戯のあと、指爪を洗う。 手や足を顔にさわらせる。 きれいな手で目をこすう。 ぬれた手足をよく洗う。	5 ① ⑬ 4~9 ⑤ ④ ⑫ 4 ② ⑤ ⑦ ⑬	6~9 4~3 6~7	Q. 仕事や遊戯のあとよく洗った手や足を顔にさわらせる。 A. きれいな手で目をこすう。 C. ぬれた手足をよく洗う。
3. セフけんや消毒薬の使い方をよく知る。		セフけん・消毒薬で手を洗う。	4~3	4~3	Q. 左に同じ。
4. 歯をみがいたり、うがいをよくする。		うがいをよくする。 歯ブラシをよく洗う。	4~3 5~3	4 5~3	Q. 左に同じ。 A. 左に同じ。
5. はなをかく。		言われたらいやはがらずにはなをかく。	4 9.1 ⑬	11 12	Q. はなをかいてもらう。
6. 汗をよくかく。		汗がでたらよく洗う。	6~9 ⑦ 6~9	6~7 6~7	Q. 汗がでたらよく洗う。 A. 髪を洗った後、タオルで顔を拭く。 C. 汗が乾いたら洗う。
7. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗う。		手ぬぐいやハンカチをよく洗う。	4~6	①	Q. ハンカチがよごれたら洗う。 A. きれいに洗う。
8. ちり紙やハンカチを、こごせたりして捨てる。		ちり紙やハンカチを、こごせたりして捨てる。	4~3	①	Q. ちり紙やハンカチをこごせたりして捨てる。 A. きれいに洗う。
9. はな紙や紙くずは、きれいに捨てる。		はな紙や紙くずは、きれいに捨てる。	4~3	①	Q. 左に同じ。 A. きれいに洗う。
10. 使った道具は、きれいに洗う。		水飲場や手洗場などは、きれいに洗う。	5~3	4~3	Q. 共用の道具がよごれたら洗う。 A. きれいに洗う。
11. 水飲場や手洗場などは、きれいに洗う。		手洗場・水飲場の便所などは、きれいに洗う。 水飲場の便所などは、きれいに洗う。	4~3 4~3	① ⑦	Q. 手洗場がよごれたら洗う。 A. きれいに洗う。
12. 戸や窓を閉閉して換気する。		戸や窓を閉閉して換気する。	7 ④	12	Q. 左に同じ。
13. 食事の前に手を洗う。	食事の基本 的習慣をつける。	食事の前に手を洗う。	5~3 4~3	4~3 4~3 ⑩	Q. 左に同じ。 A. 左に同じ。 C. 食事の前によく洗う。
14. 簡単な食事の準備やあと片づけをする。		簡単な食事の準備やあと片づけをする。	5~3	4~3 ⑬	Q. 左に同じ。
15. 食事の前後、しばらくは、静かに休む。		食事の前後、しばらくは、静かに休む。	5~3	5~3	Q. 左に同じ。
16. よい姿勢で食事をする。		食事中立つたり歩いたりせず、よい姿勢で食事をする。	5~3 5~3	4~3 ①	Q. よい姿勢で食事をする。

望ましい経験表〔健康〕

望ましい経験	観 点	年 齢		第 1 年 (4 才)	第 2 年 (5 才)
		4 才	5 才		
(1) 健康生活のためのよい習慣をつける。	清潔に關する態度を養ふ。				
1. 皮膚・髪のも・フめをどとまきれににする。		入浴・洗髪をいっやがらない。 フめをいっやがらなくする。 ③	4~3 4~3 4~3	6~7 4~3 ③	A. 左に同じ B. 爪が伸びたら切つてもらう。 C. 左に同じ
2. 仕事や遊ばのあと、手足を洗はせる。		仕事や遊ばのあと、指爪を洗はせる。 手足を洗はせる。 ⑤ ④ ⑫	5 ① ⑬	6~9 4~3	A. 仕事や遊ばのあと、指爪を洗はせる。 B. 洗はせる。 C. 洗はせる。
3. セフけんや消毒薬の使い方をしる。		セフけんや消毒薬の使い方をしる。 ② ⑤ ⑧ ⑫	4~3 5~3	4~3 4~3	A. 洗はせる。 B. 洗はせる。 C. 洗はせる。
4. 歯をみがいたり、うがいをしたりする。		歯をみがいたり、うがいをしたりする。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 洗はせる。 B. 洗はせる。 C. 洗はせる。
5. 汗をかきぬぐふ。		汗をかきぬぐふ。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 汗をかきぬぐふ。 B. 汗をかきぬぐふ。 C. 汗をかきぬぐふ。
6. 汗をかきぬぐふ。		汗をかきぬぐふ。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 汗をかきぬぐふ。 B. 汗をかきぬぐふ。 C. 汗をかきぬぐふ。
7. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。		手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 B. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 C. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。
8. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。		手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 B. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 C. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。
9. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。		手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 B. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。 C. 手ぬぐいやハンカチはきれいに洗はせる。
10. 使い終わった道具は、きれいに洗はせる。		使い終わった道具は、きれいに洗はせる。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 使い終わった道具は、きれいに洗はせる。 B. 使い終わった道具は、きれいに洗はせる。 C. 使い終わった道具は、きれいに洗はせる。
11. 水飲場や手洗場を清潔に保つ。		水飲場や手洗場を清潔に保つ。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 水飲場や手洗場を清潔に保つ。 B. 水飲場や手洗場を清潔に保つ。 C. 水飲場や手洗場を清潔に保つ。
12. 戸や窓を開閉して換気する。		戸や窓を開閉して換気する。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 戸や窓を開閉して換気する。 B. 戸や窓を開閉して換気する。 C. 戸や窓を開閉して換気する。
13. 食事の前には手を洗う。	食事の基本的習慣を身につける。	食事の前には手を洗う。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 食事の前には手を洗う。 B. 食事の前には手を洗う。 C. 食事の前には手を洗う。
14. 簡単な食事の準備や食べ残しの片づけをする。		簡単な食事の準備や食べ残しの片づけをする。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 簡単な食事の準備や食べ残しの片づけをする。 B. 簡単な食事の準備や食べ残しの片づけをする。 C. 簡単な食事の準備や食べ残しの片づけをする。
15. 食事の前後、しばらく静かに休む。		食事の前後、しばらく静かに休む。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. 食事の前後、しばらく静かに休む。 B. 食事の前後、しばらく静かに休む。 C. 食事の前後、しばらく静かに休む。
16. よい姿勢で食事をする。		よい姿勢で食事をする。 ④ ⑥ ⑩	4~3 5~3	4~3 5~3	A. よい姿勢で食事をする。 B. よい姿勢で食事をする。 C. よい姿勢で食事をする。

望ましい経験	観点	第1年(4才)	年間分考		第2年(5才)
			4才	5才	
33. 炎天下や寒い所で、長い道は走らない。	環境条件を置ける。使した心身を休ませる。	炎天下や寒い所で、長い道は走らない。日光の所や暗い所で、本を読んだら、絵をかいた。雨の中で遊ばない。	7. 1. 2. 7.	7. 12~2 6.	1. 左に同じ。 6. 雨の中で遊ばない。
34. 疲れたら休む。	休息の習慣を身にさせる。			③⑦ ③⑦	1. 疲れたら休む。 2. 運動のあと静かに休む。
35. 運動や食事のあと、静かに休む。				⑦	1. 左に同じ。
36. 楽しい遊びで休む。		楽しい遊びで休む。	5~3 ⑤⑩	4~3	1. 左に同じ。
37. 休むときは静かにする。		休むときは静かにする。	4~3	4~3	1. 左に同じ。
38. 午睡するときは、早く静かにする。		午睡するときは、早く静かにする。	5~3	5~3 5 ⑦	1. 午睡をする。 2. 午睡するときは、早く静かにする。
39. 午睡時間中、便所に行かずに済ませる。		午睡時間中、便所に行かずに済ませる。	5~3	5~3	1. 午睡時間中、便所にいかずに済ませる。
(2) いろいろな運動や遊ばせよう。					
1. 元気がかたり、とんだり。		元気がかたり、とんだり。	⑤⑥⑩	⑤⑦	1. 左に同じ。
2. いろいろな形で歩いたり、走りまわったり。		いろいろな形で歩いたり、走りまわったり。	④⑫	④⑫	1. 左に同じ。
3. すべり台・がらんご・鉄棒・ジャンプ・図画用具などで遊ぶ。		すべり台・がらんご・鉄棒・ジャンプ・図画用具などで遊ぶ。	5~3	4~3	1. 左に同じ。
4. 箱車などの乗物で遊ぶ。		箱車などの乗物で遊ぶ。	4. 5	4~3	1. 箱車、三輪車、自転車で遊ぶ。
5. 手拍子・たまなげ・雪遊びなどをする。		手拍子・たまなげ・雪遊びなどをする。	4. 4~3	4~3	1. 左に同じ。 2. 左に同じ。 3. 左に同じ。
6. 鈴なり・綱引き・たまなげなどをする。		鈴なり・綱引き・たまなげなどをする。	④⑦	4. ④	1. 左に同じ。
7. かけっこ・まわりなげなどをする。		かけっこ・まわりなげなどをする。	⑤⑥	④⑩	1. 左に同じ。
8. 歌や曲に合わせて、律動的に動く。		歌や曲に合わせて、律動的に動く。	④⑤⑩	⑩⑦	1. 左に同じ。
9. 正しい姿勢で歩いたり、膝かけたりする。		正しい姿勢で歩いたり、膝かけたりする。	④⑤⑩	⑩	1. 正しい姿勢で歩いたり、膝かけたりする。
(3) 伝染病その他の病気を予防に注意させる。					
1. 指やおもちゃなどを口に入れない。	手洗いの習慣を身にさせる。	指やおもちゃなどを口に入れない。	④⑤⑥⑫	④⑤⑥⑫	1. 左に同じ。 2. 左に同じ。

望ましい経験	観点	第1年(4才)		年間分布		第2年(5才)
		4才	5才	4才	5才	
2. ハンカチや歯ブラシなどは自分のものを使う。		ハンカチや歯ブラシは、自分のものを使う。	5~3			
3. 予防注射や、身体検査を受ける。		予防注射や身体検査は、いやがらないうちで受ける。 検査は度々。 虫刺さいやがらないうちで飲む。	5. 9 5. 9. 2. 5. 9. 2.	10 ③ ⑤ 5. 10		2. 予防注射。身体検査に開心なように同じ。 3. 駆虫剤を飲む。
4. 身長・体重測定を嫌う。	身体に好ましくないことを知らせる。	身長・体重測定などいやがらないうちで受ける。	4~3	4~3		1. 身長、体重測定に開心をもち、避けるな。
5. はこりやごみが多い所で遊ばない。		からだのぐあいが悪くなるときは、いやがらないうちで知らせる。	4. 5. 7	④		2. はこりやごみが多いところで遊ばない。
6. からだのぐあいが悪くなるときは、いやがらないうちで知らせる。		からだのぐあいが悪くなるときは、いやがらないうちで知らせる。	4. 5. 7	④		3. からだのぐあいが悪くなるときは、いやがらないうちで知らせる。
7. せきやくしやのみのできば、口を小さくする。		せきやくしやのみのできば、口を小さくする。	12. 1 ④	12. 1		4. 左と同じ。
(4) 設備や用具をたいせいで根拠なく使わない。	設備や用具の使い方を知らせる。	すべり台や用具の使い方を知らせる。 遊具は遊具のまゝ使わずに教師に言う。	4.	①		2. 設備、用具の使い方を教える。
1. 運動の設備や用具を使いこなす。		遊具は遊具のまゝ使わずに教師に言う。	4. 5. 10	4~3		3. 遊具をいたたぬように使う。
2. いろいろな遊具を使う。		遊具を使うとき、友達と遊ぶようにする。	5. 10	4~3 ①		4. 遊具は分け合い、順番に使
3. いろいろな遊具を分け合う。		遊具を使うとき、友達と遊ぶようにする。	④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ ⑩⑪⑫ ⑫⑬⑭⑮	4~3 ①②④		5. 遊具、用具はきめられた順番に始める。
4. 使われた用具や遊具はきれいにする。		遊具・用具は、遊んだら、あそこかたづけをする。				
(5) けがをしないようにする。	身の安全を確保する。	危物を走らせる動物に近づかない。 危険な虫にさわらない。 教師の目のとどかない所へは遠くから行く。 遊具を投げる時、危ない場所を避ける。 おぼろしいものは、危ない場所を避ける。	5. 7 ③ 4. 6 ② 4. 5 ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ 4. 5	⑫ 9 ③ 4~5 ① 4~3		1. 左と同じ。 2. 左と同じ。 3. 危険な遊具を避ける。 4. 乱暴をしない。
1. 危物を走らせる動物に近づかない。		危物を走らせる動物に近づかない。 危険な虫にさわらない。 教師の目のとどかない所へは遠くから行く。 遊具を投げる時、危ない場所を避ける。 おぼろしいものは、危ない場所を避ける。	4 ④ ⑥	⑦		5. ガラスの破片や危険な物を知らずさわらない。
2. 危険な遊具や動物のそばを避ける。		危物を走らせる動物に近づかない。 危険な虫にさわらない。 教師の目のとどかない所へは遠くから行く。 遊具を投げる時、危ない場所を避ける。 おぼろしいものは、危ない場所を避ける。	4 ④ ⑥	⑦		6. 木工用具はきまりを守って使う。
3. ガラスの破片や危険な物を知らずさわらない。		危物を走らせる動物に近づかない。 危険な虫にさわらない。 教師の目のとどかない所へは遠くから行く。 遊具を投げる時、危ない場所を避ける。 おぼろしいものは、危ない場所を避ける。	4 ④ ⑥	⑦		
4. はこみかやのこぎりや危物の危険を伴う遊具は、きまりを守って使う。		はこみかやのこぎりや危物の危険を伴う遊具は、きまりを守って使う。	4 ④ ⑥	⑦		
5. 交通のきまりを守って歩く。		はこみかやのこぎりや危物の危険を伴う遊具は、きまりを守って使う。	4 ④ ⑥	⑦		1. 左と同じ。 2. 左と同じ。 3. 左に同じ。 4. 左に同じ。

望ましい経験	観点	第1年(4才)		年間分布		第2年(5才)
		4才	5才	4才	5才	
6. 乗物には喉巻を穿けておろしたる。		1. 乗りおりのしをかたを知らず。 2. 乗物の中は喉巻を穿けて走り出す。 3. 乗りおる中、おぼろげに走り出す。 4. 乗りおる中、おぼろげに走り出す。 5. 乗りおる中、おぼろげに走り出す。	5 ① ② ③ ④ ⑤	④ ④ ④ ④ 4.	左に同じ。 左に同じ。 左に同じ。 左に同じ。 乗物、ほき物にこごだわらうな いで、担任のきもに早く集り、 早く避難する。	
7. 火事や地震のときは、教師の指示に従って早く避難する。		1. 火事や地震のときは、教師の指示に従って早く避難する。 2. 火事や地震のときは、教師の指示に従って早く避難する。 3. 火事や地震のときは、教師の指示に従って早く避難する。	4. 5.	③ 4~3 12~2	左に同じ。 左に同じ。 燃え易い玩具を持って遊ばない。	
8. ミリ傷やかさすり傷など、けがをさせない。		1. けがをさせない。 2. けがをさせない。 3. けがをさせない。 4. けがをさせない。 5. けがをさせない。	4. 5. 7. ② 2. ①①			

望ましい経験表について

- 幼稚園教育専攻にあげられている望ましい経験と、一応そのままとリあげた。
- 是非つけ加えた望ましい経験は、項を設けて加えた。
- 望ましい経験を、二年保育の第一年(4才)、第2年(5才)に分けて書いた。
- 望ましい経験・観点・保育年数(年令別)・年間分布の欄を設けた。
- 年間分布に①②を必書いてあるのは、第一單元、第二單元を表し、その單元に望ましい経験を記してあることを示す。
- 1. 2. 3. を必書かれた数字は月を展わし、その月の單元外活動の中に望ましい経験を記してありあげてあることを示す。

幼稚園教育要領と小学校学習指導要領(改訂)との  
関連性について

—健康に関して—

I 幼稚園教育の6領域と小学校教育の教科との相違  
 今とらえたテーマとして、幼稚園の教育内容を構成する6領域  
 ごとに小学校学習指導要領との関連性を考察するにあたり、まず  
 一注意しなくてはならぬことは、幼稚園の教育内容たる6領域  
 が小学校のじとく教科別に別々の学習経験を持つのではないこと  
 である。幼稚園の教育内容は、教育の場における幼児の生活経験の  
 うちに6領域全部またはそのいくつかにまたがり交錯して現われ  
 ているので、小学校教育の各教科別に学習経験があり、教科別に  
 知的に理解・能力・態度を高めて行くのとは根本的に相違がある。

II 幼稚園の「健康」と小学校の教科の内容的連関性  
 幼稚園の6領域の各項目が独立した教科でないことは上述の  
 とおりであるが、次にその一領域たる「健康」が小学校の教育  
 課程(各教科・道徳・特別教育活動・学校行事)の中にかかに  
 含まれているか調べて見たい。幼稚園教育内容を小学校の教育  
 目標・内容とてらし合せて見ると、「健康」に関して、社会・体  
 育(特に高学年においては保健を含む)・理科(高学年)・  
 家庭(高学年)の各教科、その他道徳・特別教育活動・学校行事  
 の中に含まれている。幼稚園と小学校との関連性が主題である  
 ため、特に小学校1年の教育内容の中で「健康」の領域にある  
 望ましい経験に通ずるものをあげると、次のようになる。

社会科内容 (p.38)

- (10) 自分たちの周囲には、いろいろな道路があり、また各  
 種の乗物が走っていて、人や物を運ぶたしせつな役割を果  
 しているが、その利用には危険も伴うから、登下校などには  
 常に注意が必要である。
- (11) 自分たちの周囲には、公園、空地、遊園地などもあり、遊び場  
 その他に役だっているが、その利用のしかたについても  
 いろいろな注意を要する必要がある。
- (12) 家庭の衣食住、自分たちの遊びや生活のしかたなどには、季  
 節によって、さまざまな違いがみられる。

他の人に代わって遊びをさせる。  
 夏期には海、冬期には雪を遊ぶ。コップは  
 各自持つ。  
 各組のリーダーは、精進俵を使う。

C 災害予防

- ・ 入園幼児は、通園時間、通園時間、危険な場所  
 と書き入りの様子を知らせる。  
 ・ 通園の道筋は決めた所  
 ・ 乗物に乗った散園児は幼児は乗物にこぼれ所  
 ・ 保育時間内変更毎に家庭に連絡する。  
 ・ 年間一回避難訓練をする。非常用の旗を  
 各組毎に準備し、幼児にもあらかじめ  
 説明しておく。(各組の旗を準備。非常  
 時には生きの道に従って出たては早く避難出来  
 るようにする)  
 ・ 交差点訓練をする。  
 ・ お巡りさんに来て貰って園庭で果地に、  
 横断歩道の渡り方、右側通行について行い、  
 非常時に取付く所。  
 ・ 防火用器具の配置と胎布(夜光塗料使用)  
 ・ 防火用器具の場所と夜光塗料のコーキング。  
 ・ 防火用器具の配置と胎布(夜光塗料使用)  
 ・ 防火用器具の場所と夜光塗料のコーキング。  
 ・ 日直は毎朝園内を見まわり遊具点検、危険な  
 場所があるかないかを確かめたりする。  
 ・ 時をきめて遊具異常を報告し、危険を知らせる。

・ 通園時間と幼稚園に提出するときに、危険  
 な場所は幼児が完全なところまで通れるよう  
 な状態にしておく。  
 ・ 家庭の状況が保育が開始するまでに、危険の  
 理由を幼児に説明する。  
 ・ 家庭連絡網を作っておく。  
 ・ 保育時間とすべし、家庭に連絡する。  
 ・ 時々は直ぐ幼稚園に知らせ、帰宅の途中  
 で、夜直の家へ寄り道をしたり、場合によっては  
 しない。一応、家に寄り道をさせ、警備員に申し合  
 わせておく。夕方、お迎えまで、家庭に連絡し  
 ないよう申し合せておく。  
 ・ 防火用器具の配置と胎布(夜光塗料使用)  
 ・ 防火用器具の場所と夜光塗料のコーキング。

- (14) みんな健康に暮らすことが楽しい生活へとになるので、学校や社会では病気やけいを防ぐためのきまりをつくらしたり、行事を行ったりしており、両親や先生が常に気に配っている。

体育科内容 (P. 208)

A, B, C, D, E, F, G (別紙参照)

道徳 (P. 243)

「日常生活の基本的行動様式」に関する内容

- (1) 生命を尊び、健康を増進し、安全の保持に努める。
- (2) 自分のことは自分でし、他人に頼らない。
- (3) 服装・言語動作など、時と場に応じて適切にし、礼儀作法を正しくする。
- (4) 身のまわりを整理し、整頓し、環境の美化に努める。

特別教育活動 (P. 260)

具体的に表わされているのが、目標の3に「実践活動を通じて、個性の伸長を図り、心身ともに健康な生活ができるようにする」とあるので、この中で「健康が取りあげられて、これによって「健康」の望ましい経験が達成される可能性が大いにある。

学校行事

内容として「学校行事等においては、儀式・学芸的行事・保健体育的行事・遠足・学校給食その他上記の目標を達成する教育活動を適宜行うものとする」と書かれているが、保健体育的行事・遠足・学校給食の諸行事は幼稚園の「健康」の目指す教育目標と同じ目標を持つものと考えられる。

なお小学校学習指導要領総則に「保健に関する事項の指導は、各教科・道徳・特別教育活動および学校行事等の教育活動全体を通じて行うものとする」ということになっていることに注意すべきである。

III 幼稚園教育における生活習慣と生活指導の重要性

以上小学校1年の教育内容で「健康」の領域にそくするものを見ていくと、日常の生活習慣、保健的

非常に大ざっぱに抽象的に表わされているが、積極的な体育面の運動については、体育汁の中に具体的に運動の内容がくわしく示されている。それに対して幼稚園の「健康」は「健康生活のためのよい習慣をつける」の中に清潔・食事・排便・衣服・運動・休息の各項に分けて、日常の基礎的な生活習慣としての望ましい経験が具体的にくわしくあげられている。又安全、保健についても「傳染病その他の病気にかからないようにする」「けいをしなないようにする」の中に具体的に多くあげられている。幼稚園で生活習慣について望ましい経験の非常に重視されているのは、幼児期が基礎的な生活習慣を身につける時期であるとされており、当然のことであろう。小学校は家庭や幼稚園で一応生活習慣はついているとして、その上に立って教育が進められているのであるかとも思われる。この点から考えると、今までから大いにいわれていたように、幼児教育は生活指導であるということをもた新しく自覚し、一層生活指導に力をいれるべきである。その他安全、保健について、幼稚園では管理や環境整備について、又家庭の連絡などが重視されているが、これも幼児期の養護の時期であり、これも当然のことであろう。

IV 幼稚園における運動と小学校の体育との関連性

幼稚園の「健康」の「いろいろや運動や遊びをする」の中に積極的な体育面の考えられているが、小学校1年の体育科に見られる運動の内容にくらべて非常に大ざっぱである。幼稚園は小学校と比較にならぬほど体育的遊具を持ちながら、これらの遊具の有効適切な利用、幼児の発達段階にそつた体育的配慮などに関してはお充分な研究を必要とするように思われる。ある種の遊具には全幼児に親しませるようなくいふを教育内容の中にも水計画的にとりあげるべきであると思われる。音楽リズムや陰画製作の領域において、それぞれ段階的に望ましい経験があるごとく、運動遊具の使用についても同じように望ましい経験があるのではないだろうか。



# 体 育

## 第1 目 標

- 1 各種の運動を適切に行わせることによって、基礎的な運動能力を養い、心身の健全な発達を促し、活動力を高める。
- 2 各種の運動に親しませ、運動のしかたや技能を身につけ、生活を豊かにする態度を育てる。
- 3 運動やゲームを通して、公正な態度を育て、進んで約束やきまりを守り、互に協力して自己の責任を果たすなどの社会生活に必要の態度を養う。
- 4 健康・安全に留意して運動を行う態度や能力を養い、さらに保健の初歩的知識を理解させ、健康な生活を営む態度や能力を育てる。

## 第2 各学年の目標および内容

### (第1学年)

#### 1 目 標

- (1) 各種の簡単な運動を行わせることによって、基礎的な運動能力を養う。
- (2) だれとでも仲よくし、また、きまりを守って楽しく運動を行う態度を育てる。
- (3) 運動に関連した健康・安全についてのきまりを守る態度や習慣を養う。

#### 2 内 容

##### A 徒手体操

- (1) 次のような運動によって、身体を全身的、総合的に動かすことができるようにする。

ア. しやがんだり、立ったりする。

イ. 足を大きく開いたり、片足または両足でこんたりする。

ウ. 両手で押したり、引いたりする動作をする。

エ. 腕をいろいろな方向に振り上げたり、振り回したりする。

オ. 片手をすり上げながら、体を左右に曲げる。

カ. 開脚で、足くびを握って体を前に深く曲げ、両脚の間から

縦書きの注釈や補足記号

うしろを見たり、手を腰にあて体をうしろにそらして、うしろを見るようにしたりする。

キ. 体を左右に回して、体側で手をたたく。

(2) 楽しくきまりよく運動を行う態度を育てる。

### B. 器械運動

(1) 次の運動によって、器械・器具の取扱に慣れさせ、いろいろな器械遊びができるようにする。

ア. 固定施設による遊び----- 固定施設 (たとえば、がらん、シーソー、すべり台、登り棒、雲梯、ジャングルジム、平均台など) を使って運動する。

イ. 鉄棒遊び----- 腕をまわす、足かけ振り、うしろおり、足ぬき回りをする。

ウ. とび箱遊び----- またぎ越し、踏む跳し、腕をまわす、とびおりをする。

エ. マット遊び----- 横回り、ゆりかごをする。

(2) だれとでも仲よくし、きまりを守って運動を行う態度を育てる。

- ア. 友だちの運動をよく見る。
- イ. 待つときの順番を守る。
- ウ. 運動をしている者に近寄らない。

### C. 陸上運動

(1) 次の運動によって、走・跳の能力を高める。

- ア. かけっこ (約30m)----- まっすぐに走る。
- イ. 置換えりレー----- 決った方法で置換えや引継ぎをする。
- ウ. 並びっこ----- 位置を移動して早く並ぶ。
- エ. 川とび----- 片足や両足でとび越す。
- オ. ゴムとび----- 高さぐらゐをとび越す。

(2) だれとでも仲よくし、きまりを守って運動を行う態度を育てる。

- ア. 順番を守る。
- イ. 走るとき、他人を押したり突いたりしない。
- ウ. 用具の準備を手伝う。

### D. ボール運動

(1) 次の運動によって、ボールの取扱に慣れさせ、簡単なゲームができるようにする。

- ア. 手渡し順送球----- ボールを上・横から手渡しする。指を置いて両手でボールを挿しこむ。
- イ. ころがしドッジボール----- ボールをころがし、中の者に当たるとボールを当てられぬように身をかかわす。
- ウ. たま入れ----- 高い所にフタのかごに紅(白)球を投げ入れ、腕の中から手を調子よく使って投げる。
- エ. 対列ボールけり----- 止まっているボールをける。ころがってくるボールを止めてける。

(2) だれとでも仲よくし、きまりを守って運動を行う態度を育てる。

- ア. 順番を守る。
- イ. 合団や約束を守る。
- ウ. 逃がしたボールを遡って取りに行く。
- エ. ボールを避けたり取ったりするとき、他人を押したり突いたりしない。

### E. リズム運動

(1) 次の歌を伴う遊びや模倣遊びを行わせ、楽しくリズム運動ができるようにする。

- ア. 簡単な歌を伴う遊び
- (ア) タヤリこりけ、かごめかごめ、あわぶくたつた、おしろまんじゆ) などをする。

(1) 自由隊形や1重円でスキップ、ランニング、ウォーキングなどをする。

- イ. 模倣遊び
- (ア) 動物・乗り物・遊びなどの簡単な模倣をする。
- (1) ひろないしよん、けう、ころがる、歩、走、跳躍、足伸などの1, 2拍動作を速度を変えて行う。

(2) だれとでも仲よく運動を行う態度を育てる。

- ア. だれとでも組んで遊ぶ。
- イ. 役を代りあつて遊ぶ。

### F. その他の運動

(1) 次の運動ができるようにする。

- ア. すもう----- 押し出し遊び、片足すもうをする。
- イ. 鬼遊び----- ひとり鬼、場所の鬼、けん鬼をする。
- ウ. なわとび----- 短なわで片足前とび、両足とび、1回跳ぶ跳躍とびをする。長なわで大波小波をする。



幼児の健康管理

(健康管理の年間計画は、幼稚園で計画したものを、大学の健康相談所に出し、大学付属一休としたものを作っている。)

A 身体検査

実施事項

- 入園調査(1月末)に身体検査を行い、薬治療者は毎月入園までに治療させるようにする。
- 年間3回(5月、9月、1月)身体検査(内科、眼科、耳鼻科、歯科)を行う。
- 年間2回(5月、10月)ソベルクリン反応、BCG接種レントゲン撮影(周産)を行う。必要の者は直撮撮影をとる。(最近病気をした幼児は医師と相談の上BCGをやる)
- 年一回検定薬注射服用をする。
- 毎月15日身長、体重測定(毎学期、胸囲)
- 毎朝日直が視診を行う。
- 入園以前の健康本能在家庭調査を通じて調べておく。
- 転身の身体検査は毎年行う。

家庭への連絡

- 入園許可書は、金治証明を降って来て来た(病身身体検査の結果を通知する(医師の指示により)トポムなど)は幼稚園を休ませる)
- 最近3ヶ月以内は、百日咳、麻疹などにかかった幼児を調べて、BCG接種を300ccの量を求める。
- 直撮撮影の結果については、幼稚園を休ませる。
- 毎月出席状況と共に、算長、体章を園の便りに記入して家庭に知らせる。
- 伝染性のもの、その他休んだ方がよいと思われる幼児は、手紙を降らせて帰す。
- 健康相談所を、園児は勿論、家族も利用出来ることを知らせる。
- 健康に関する職等は、クラス会及び、真知等によう連絡する。

B 給食

- 毎日朝食(牛乳90cc、ミルク(200cc)をとり、ビスマゼリ服用(毎日))
- 週2回(月、土)の午時の副食を補う(偏食矯正)
- 弁当の日(日曜、お母さん、二人、手洗、粗心)
- 給食に当分者は、幼稚園で用意したマスク、給食、エプロン、履物を用いる。油性石ケン洗剤も徹底する。からたの具合の家は、帰る他の人に代って買った給食に当たらない。
- 夏期は冷たいお茶を各組にふる。こまごま各自持ち。
- 給食係と下着者、精密検査を行う。

- 給食の実費を毎月徴集する。
- (実費：肉食10円、副食補助 7円)
- 弁当の時の給食は、毎月初めに献立を立て、調理法、分量、分量を記入し知らせる。

例

C 災害予防

- 入園幼児は、通園四、通園時間、危険な場所と書き入れたて渡出せせ。
- 通園の道筋は決められ。
- 乗物に乗った散園時、幼児は乗物にのりこせし送る。
- 保育時、所交、更毎に家庭に連絡する。
- 年一回避難訓練をする。非常用の旗と名簿、緊急に準備し、幼児にもおぼつかしに教える。(各組の旗と準備。非常の際には、芝生、道に逃げて出た後、早く避難するようにする)
- 交通訓練をする。
- お巡りさんに、未2歳児、園庭で、美地には横断歩道の渡り方、右側通行について行い、非常時に、お巡りさんと手を繋ぎ、歩行させる。
- 防火用貝、既置園と胎布(被火塗料使用)
- 防火用貝の場所を、夜光塗料のマークを貼る。
- 日直は毎朝園内を見まわし、遊具、点検、危険な場所があるか、危険物を置かないか、夏まつりをする。
- 時をきめて、遊具、点検を繰り返す。

- 通園四と幼稚園に提出すると共に、危険な場所には、幼児が、充分とつけと通れるように、お母さん、家人が、ついて来る。
- 欠席の幼児は、保育が、始まるまでに、欠席の理由を、幼稚園に知らせる。
- 家庭連絡網を作ります。
- 保育時、所交、更毎に、家庭に、連絡する。
- 時、直ぐ、幼稚園に知らせ、帰途の途中で、友達の家へ、寄り道を、した場合は、その子に、おぼつかしに、一応、家に、帰らせ、警備員、おぼつかしに、知らせ、夕方、おぼつかしに、友達の家へ、遊びに行かせる。
- おぼつかしに、申し合わせ、防火用貝、既置園の、こぼれ、家庭に、連絡する。

健康のための施設 用具

A 遊具

1. 園庭遊具
  - すべり台 砂場 ぶらんこ、シーソー シャンブル、ジム、電車、たらいに橋
  - 他鉄棒、園庭用木、メリーゴラウンド クライムジム、ボール のぼり棒
  - のぼり縄、家箱庭、組不作り、水まき、たまり所、早物台
  - 砂遊び用ボール、マット、なわとび用縄、ポリマー、輪、つばきまわ
  - 自転車、三輪車、車

2. 室内遊具

- おもちゃ用具 — 入口付近の所、白所用具、人形、動物、こま
- 乳母車、ぶらんこ、寝台
- 組木板、大積木、小積木、黒板

B 衛生施設

1. 医務室

- 病室、毛布、枕、水枕、水筒、検査器
- 身体計測器 — 体重、身長、座高測定器、胸圍とわかるメートル巻尺
- 衛生材料 — 月経たい、カンゼ、精製綿、油紙、眼帯
- 薬品 — オキシソル、マニキュア、ヨドナシ、アモニア、石けん
- 用具 — 消毒石けん、消毒箱、消毒がせ、ろくろ入れ
- 幼児着換 — シーツ、くつ、ハンカチ

薬品、用具は誰が使用出来る所に、薬品の名前をつけておく。

薬品の使用法、その他の注意、事項と手紙の隣に貼っておく。

処置をした時は、必ず備え付けの帳簿に記入する(月日、組名、けがの状態、けがの場所、時間、使用器具)

巻読放輪(兼座)運動

- 知恵、健康、記録整理その他の事務をささ
- 園外体育、遠足運動会、水遊び、幼稚園、幼稚園、こども園、などの時は巻読係を担当。
- 視力測定、など
- 園庭設備、注射実施、などの時は園庭の助手をつとめる。

2. 保育室

- イ. 手洗所と各保育室につける
    - 石けん、逆性石けん、爪がき、鏡
    - 手拭(3つ折りの輪にしておき、汚れたらとりかえる)
  - ロ. 休息用のふとん (各幼思に台を2つ置く)
    - (床に花紙をしい、その上にはんこ)
  - ハ. 休息時の緑色のカーテンをひく
    - (弁当のあつ、弁当のあと、如令位休息)
- 保育室の通風、換気、散房にこまに掃除機をかける(窓をあける、冬期はストーブにつける)

3. 園庭

- 手洗場(高、輪のたもとに2つ置く)
- 水呑場、足洗場、散水用ホース
- 雨の場合の旗(この旗をたつ、こまに掃除機をかける)
- 園庭に生かす

4. 便所

- 逆性石けんと洗面器にたたくおみ(毎朝作り)
- 列紙と備え付け
- 消毒液、便所清掃用具、用具入り棚
- 手拭と屏風を、毎日2回以上取換える









指導過程に於ける問題点  
日なたと日かげを比べる。

二年保育五才児

題材 日なたと日かげに於ける大豆の成長を比べる。  
題材を 日なたと日かげの方に於けるために、太陽が植物に与える影響を感じ取りあげたい。そのため、比較的短期間に栽培出来、収穫も楽しめる大豆を選んだ。

目標 日なたと日かげに於ける植物の成長と変化に気づき、太陽の影響を感じとらせる。進んで話をし、継続的に観察する態度を養う。

指導計画	時期	予想	活動	着眼点	指導の配意	環境整備
指導計画	六月一五日	大豆の観察をする。 大豆の成長について話し合う。	大豆の観察をする。 大豆の成長について話し合う。	興味をもち、植物の成長を観察する。	土、肥料、水の条件が同じで、あるとあると異なるものを用意する。このうち、早く成長するもの、遅く成長するもの、生育の仕方が異なるものを用意する。	よく観察できるようにする。 植物の生育の様子を毎日観察できるようにする。
				水や肥料をやり、草をとり、収穫をする。 皆で食べる。	大豆の成長について話し合う。	変化がある度に、全員に知らせる。早く成長するもの、遅く成長するもの、生育の仕方が異なるものを用意する。
指導計画		大豆の観察をする。 大豆の成長について話し合う。	大豆の観察をする。 大豆の成長について話し合う。	興味をもち、植物の成長を観察する。	土、肥料、水の条件が同じで、あるとあると異なるものを用意する。このうち、早く成長するもの、遅く成長するもの、生育の仕方が異なるものを用意する。	よく観察できるようにする。 植物の生育の様子を毎日観察できるようにする。

考

◇ 題材の適否

日なたと日かげを比べる題材としては、栽培に長期間を要し、日かげで育つてものが枯れたり、夏休みに入って、話し合いの機会を逃がしたために、後半は、比較観察が不十分となった。従って、大豆の栽培と、日なた、日かげに於ける問題とが、離れがちであった。  
しかし、植物栽培としては、大豆は成長が早く、発芽の状態、花のつき等、観察が容易で、収穫の楽しみもあり、適切である。  
日なたと日かげに於ける植物の成長の成長のちがいをみるためには、もっとよい題材があるのではないかと思う。

◇ 幼児の反応興味

- ・ 自分で種子を蒔いたという自覚が成長に対する興味を増した。
- ・ 日なたと日かげとの大豆の成長のちがいが、はっきりしてくるに従い、比較に対する興味も大きくなり、どちらが大きくなるかにこの話し合いが、一層、比較の意識を強めた。
- ・ 日かげの大豆が枯れてからは、話し合いの場以外では、比較に対する興味をうける日なたの大豆の収穫への期待に移った。
- ・ 比較の話し合いが、クラス全体で、何れも行われたため、全員が同じように興味をもった。

果

## 態度

- 。比較に関する話し合いが、競争意識を強めたためか、水やり等の世話や、観察の態度も積極的であった。
  - 。一方が枯れてからも、自分たちの大豆の成長が、はまりしているため、割合よく観察した。
- ## 理解
- 。最初の比較の話し合いでは、自分たちの大豆を支持したのも、はまりした理由を知らず、太陽の二とを云った幼児も、自信なげな様子で、何となく支持したよらに見受けられる。
  - 。日かげの大豆が枯れた後の話し合いでは、太陽の影響を意識したものが、かたがし出て来たが、その意識も、青虫を育てた時ほど、経験と結びつかず、感事もみられなかった。
  - 。幼児の理解の程度としては、太陽の影響と云うものは、実感として感じられないうちも少しない。

## 指導上の問題点

- 。太陽の植物に与える影響は、はつきり幼児の目に扣まされず、理解が困難であるから、自分たちと日かげのちがいを、経験を通して、理解するまでに至らなかつた。しかし、今後、かげふみ、日光写真、温度比べに発展させていけば、自分たちと日かげのちがいがわかると共に、太陽の明るさ、熱等の理解も、わかるよつにできると思う。
- 。自分たちと日かげに於ける大豆の成長の比較を話し合い、その結果、谷幼児の考えを記録したことは、好ましい程度、競争意識を昂め、興味を深める結果となった。

。栽培については観察作業が容易に出来る程度に広い畑が望ましい。

備考 今後の計画としては かげふみ(11月) 温度比べ、日光写真(2月)を予定している。



指導過程に於ける向度

題材	青虫を飼育する。
題材を 取り出す	子供に下して付物に対して好奇心を持たせ見せしめ聞くもむにいろいろ質問を促すのが 手だ。継続的にみ下しとすることほできにくく、しかし、子供にふいてもものを継続的 にかよとする態度を養うことほ必要である。その為には、家庭のこく身近な 野外でとれる小動物の物でんでん虫、みみ虫、あり、青虫などほ、特に幼児は親しみを 持たせて、とらえてきておく遊具。その中特に青虫は、成長とともにかんたが着 しく変化することほ、仔細にみるたために、継続的に物をみることできにくく、子供 にふいても断続的にその着し、変化を観察することかのできるのではないうかと思 ふ。

目標	青虫を飼育することによって、断続的に見せしめとて態度を養う。 ・ 変化を観察することによって、青虫の形、色、動きなどを観察し、興味を持つたせる。
期間	予見、観察活動
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青虫を飼育してきて飼育する。</li> <li>・ 青虫の様子について話し合ふ。</li> <li>・ 青虫の動き、色、運動などを観察する。</li> <li>・ 断続的に観察し、成長や変化に気がつく。</li> <li>・ 成長の様子、動き、色、変化などを観察する。</li> <li>・ 成長の様子、動き、色、変化などを観察する。</li> </ul>

題材	青虫を飼育する。
題材を 取り出す	子供に下して付物に対して好奇心を持たせ見せしめ聞くもむにいろいろ質問を促すのが 手だ。継続的にみ下しとすることほできにくく、しかし、子供にふいてもものを継続的 にかよとする態度を養うことほ必要である。その為には、家庭のこく身近な 野外でとれる小動物の物でんでん虫、みみ虫、あり、青虫などほ、特に幼児は親しみを 持たせて、とらえてきておく遊具。その中特に青虫は、成長とともにかんたが着 しく変化することほ、仔細にみるたために、継続的に物をみることできにくく、子供 にふいても断続的にその着し、変化を観察することかのできるのではないうかと思 ふ。

指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青虫を飼育することによって、断続的に見せしめとて態度を養う。</li> <li>・ 変化を観察することによって、青虫の形、色、動きなどを観察し、興味を持つたせる。</li> </ul>
------	---

指導計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青虫を飼育することによって、断続的に見せしめとて態度を養う。</li> <li>・ 変化を観察することによって、青虫の形、色、動きなどを観察し、興味を持つたせる。</li> </ul>
------	---

題材をとりあげた趣旨

年令 題	5才児	4才児	3才児
③ 日なたと日かげをくらべら	<p>日なたと日かげの温度や明るさなどのちがいに気づかせ 太陽の生物に与える影響にも関心をもたせていきたい。</p> <p>そのために、最もその変化むはげしく、又その影響が幼児達の生活にも密接に関係のある夏期と冬期にこれをとりあげてみた。</p>	<p>4才児には日なた、日かげの現象を科学的に比べることは容易でない。</p> <p>冬になれば子供たちは自然に日なたに集まって遊ぶことが多い。</p> <p>このように實際経験をおして日なた、日かげの差に気づかせる。</p>	
⑤ 玩具の構造に関心をもつ	<p>現代の人間にとって、機械に対する関心と理解は、心酔のものである。</p> <p>幼児の生活に於ても、TVやラジオの影響で、人工衛星やロケットも、身近なものとなった。</p> <p>また特に5才児は、玩具をこわしてみたりして、機械の構造などに興味をもつ段階に来ている。</p> <p>この時に、幼児の最も身近な動く玩具を使って、機械の構造や機能に対する関心を深め、科学的、探求的な態度を伸ばしていく事が大切である。</p>	<p>玩具、特に動く玩具を持つて遊ぶことは子どもたちの喜びの一つである。</p> <p>自動車、汽車、人形など種々の原動力で動く玩具で楽しく遊ばせてそのちがいに気づかせる。</p>	<p>幼児は動くものに興味を持つていて、その中でも特に動くおもちゃには深い関心をもつていて、自動車や汽車などいろいろな原動力で動くおもちゃにふれさせて、その動かしかたのちがいに興味をもつて楽しく遊ばせたい。</p>
① 動物の成長や変化を継続的にみようとす	<p>幼児達の生活は自然界と密接なつながりを持つており、虫などにも非常な興味を持つていて、この興味を正しい観察へと導いていきたい。</p> <p>おたまじやくしも虫や青虫などは生物の中でもはっきりした変態順序を辿って、成長し、それらの幼虫は、成長すれば幼児たちに最も親しいかえるやうになるから、これ等を観察することは幼児たちにとって大変興味があることと思われる。</p> <p>これらの生物の観察をととしてわたしたちをつつんでいってこの自然界のすばらしさを幼児の心に結ばせてやりたい。</p>	<p>幼児は身近に触れかこの出来る小動物に対して非常に興味を示す。特に青虫や虫などは、その成長につれ、変化が著しいので年少児の観察にも適当である。</p> <p>その変化を楽しくみようと望む期待をもたせつつ飼育させることに依り観察する態度を養いたい。</p>	<p>3才児においては、物に対して、好奇心を持つて見るもの聞くものにいろいろ質問を覚えるが、まだ継続的にみようとすることはいまだに少ない。</p> <p>しかし、3才児においても、ものを継続的にみようとす態度を養うことは必要である。</p> <p>その為、幼稚園や家庭のごく身近な野外でこれら小動物の内ごん虫、おむし、あり、青虫などは、特に幼児は親しみを抱いていて、とらえてきてよく遊ぶ。その中特に青虫は、成長とともにからだも、著しく変化するので、はつきりみられるために、継続的に物を見ることのできる3才児においても継続的にそのいちじろしい変化を観察することができるとはなれらうかと思われ。</p>

題材として  
 幼児の生活は自然界に無条件に依存して育ち、虫や動物の中には生物の中で最も興味をそそぐものがある。おたまじくは、幼虫から成虫になるまで、観察し、育てる。これら生物の観察を通じて、おたまじくの自然界の生活の様子を知ることができ、自然の不思議さや生命の不思議さを知ることができる。

目標  
 1. 青虫や毛虫おたまじくを継続的に観察することにより、生物の生活の不思議さや生命の不思議さを知ること。  
 2. 青虫や毛虫おたまじくの成長の過程を観察することにより、自然界の不思議さや生命の不思議さを知ること。

期間	指導される活動	指導の着眼点	指導の留意	環境整備及び資料
5月初旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>青虫、毛虫おたまじくを飼育し、観察する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察し、おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味をもち、観察し、おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>青虫、毛虫はガラスの飼育箱に入れておく。</li> <li>おたまじくは水筒に入れておく。</li> <li>飼育箱の底には新聞紙を敷く。</li> <li>おたまじくは、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくは、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> </ul>

指導計画

日期	指導の経過	活動	記録	反省
5.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>② 虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>③ 虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>④ 虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味、観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> </ul>

記録

日期	指導の経過	活動	記録	反省
5.14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> <li>おたまじくの幼虫(アゲハ、アゲハ)を飼育し、観察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>② 虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>③ 虫の生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>④ 虫の成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>おたまじくの成長の様子を観察し、記録する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>興味、観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> <li>観察し、おたまじくの生活の様子を観察し、記録する。</li> </ul>

記録

考察	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 観察の様子</li> <li>2. 幼虫の反応</li> <li>3. 指導上の問題点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この期間の單元名は、「元克を育てよう」であり観察日、集団観察として行った。</li> </ul>

考察

奈良女子大学文学部附属幼稚園

研究調査についてのお願

今年には幼児がそれぞれだけ幼稚園で発達と仲よくしたり、協力したりするこゝが  
 できらるか、その過程を又その海を科学的にわきわめるところを研究課題とし  
 それによつて一層よい教育さうちたてたいと望んでいます。  
 そのために調査記録などについてご家庭の協力が是非必要ですのぞ  
 よろしくお願いたします。  
 尚これら調査について次のことをご承諾の上ご記入下さるようお願い  
 いたします。

- 。事実をありのまま記入して下さい。
- 。この調査によつて個人のおしあしあしきめらるるのではありません。
- 。調査のためにはことさら幼児を、しつげることのないように  
 して下さい。

日(水)	5月12日(木)	5月13日(金)	5月14日(土)	
(水)	幼稚園で、もつとごんごんが(た)いか。			幼稚園で、もつとごんごんが(た)いか。
	5月14日(土)			

調査 I (家庭)

組 氏名

1. 幼稚園へ行く時の様子は どうですか。

(お子様の様子を ごらんになつた次にあけていろいろ事項の内、該当するものに印をつけて下さい)

・朝早くからいきたがら

・まげんよく家を出る

・送つてほしいという

・家をぞろぞろ時ぐずら

・送つていつた時幼稚園で別れにくい

・その他

2. 5月9日(月)現在で覚えていろいろ存連の名前

(お母様が幼児にきいて記入して下さい。  
1組、2組は記入不要)

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

(水)

5月12日(木)

5月13日(金)

5月14日(土)

(水) 幼稚園で、もつと、どんなこまがしたか。

幼稚園でもつと、どんななものがほしいか。

5月14日(土)



3. (イ)、(ロ)、毎日家庭で友達についてどんな話題がでるか。  
 (イ)、(ニ)、毎日幼稚園の生活で、どんなことが好きか、どんなことがいやか。  
 (ホ)、幼児は幼稚園でどんなことがしたいか、どんなものがほしいか。

(イ)、(ロ)の項については自然の話のうちに、友達の名前がでたらその時の友達の名前と話の内容を記入して下さい。

(イ)、(ニ)の項についてはお母さまが幼児に質問して記入して下さい。

(ホ)の項については5月14日(土)にお母さまが幼児に質問して記入して下さい。

日	(イ) 友達の名前	(ロ) その時の話の内容	(イ)、(ニ) 幼稚園でどんなことが 好きか	(ニ)、(イ) 何が いやか	幼稚園でどんなことが ほしいか
例	○○ちゃん、 □□ちゃん、 △△ちゃん、 ××ちゃん	○○ちゃん、□□ちゃんといっしょに すべり台であそんだ。 △△ちゃんは今日も泣いた。 ××ちゃんといっしょに話をした			
5月9日(月)					
5月10日(火)					
5月11日(水)					
5月12日(木)					
5月13日(金)					
5月14日(土)					
(ホ)	幼稚園で、もつとどんなことがしたいか		幼稚園で、もつとどんなものがほしいか		
5月14日(土)					

